マニュアルの使いかた

安心してお使いいただくために

- パソコンをお取り扱いいただくための注意事項
  ご使用前に必ずお読みください。

取扱説明書（本書）

- パソコンの準備
- 各部の名前
- 電源の入れかた
- Windowsのセットアップ
- 電源の切りかた
- システム環境の変更とは
- 初期状態に戻す（リカバリー）
- Q&A集（電源が入らないとき）
- 廃棄／譲渡

など

オンラインマニュアル

Windowsが起動しているときにパソコンの画面上で見るマニュアルです。

- パソコンを買い替えたとき
- パソコンの基本操作
- ネットワーク機能
- 周辺機器の接続
- バッテリー駆動で使う方法
- システム環境の変更
- パソコンの動作がおかしいとき／Q&A集

など

リリース情報

- 本製品を使用するうえでの注意事項など
  必ずお読みください。

参照 「はじめに- 7 リリース情報について」

もくじ

はじめに

本製品を安全に正しく使うために重要な事項が、付属の冊子『安心してお使いいただくために』に記載されています。必ずお読みになり、正しくお使いください。
本書や『安心してお使いいただくために』は、お読みになったあと、いつでも見られるようにお手元に大切に保管してください。

本書は、次の決まりに従って書かれています。

1 記号の意味

⚠危 険	“取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（＊1）を負うことがあり、その切迫の度合いが高いこと”を示します。
⚠警 告	“取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（＊1）を負うことが想定されること”を示します。
⚠注 意	“取り扱いを誤った場合、使用者が傷害（＊2）を負うことが想定されるか、または物的損害（＊3）の発生が想定されること”を示します。
お願い	データの消失や、故障、性能低下を起こさないために守ってほしい内容、仕様や機能に関して知っておいてほしい内容を示します。
メモ	知っていると便利な内容を示します。
役立つ操作集	知っていると役に立つ操作を示します。
参照	参照先を示します。 ● 本書内への参照の場合…「　」 ● ほかのマニュアルやヘルプへの参照の場合…『　』

＊1 重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
＊2 傷害とは、治療に入院・長期の通院を要さない、けが、やけど（高温・低温）、感電などをさします。
＊3 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

2 用語について

本書では、次のように定義します。

システム

特に説明がない場合は、使用しているオペレーティングシステム（OS）を示します。

アプリケーションまたはアプリケーションソフト

アプリケーションソフトウェアを示します。

Windows

Windows 8 ProまたはWindows 7 Professionalを示します。

Windows 8

Windows 8 Proを示します。

Windows 7

Windows 7 Professionalを示します。

MS-IME

Microsoft IMEを示します。

SSD

本製品には、補助記憶装置として、フラッシュメモリを記憶媒体とするドライブが搭載されています。SSD（ソリッドステートドライブ）とは、ハードディスクの記憶媒体である磁気ディスクの代わりに、NANDフラッシュメモリを使用した大容量記憶媒体です。
SSDの補助記憶装置としての機能は、ハードディスクドライブと同等です。
なお、本書において「ハードディスク」または「ハードディスクドライブ」と記載されている場合は、SSDを示します（「外付けハードディスクドライブ」は除く）。

Office搭載モデル

Microsoft Office Personal 2013またはMicrosoft Office Home and Business 2013をプレインストールしているモデルを示します。

Bluetooth機能搭載モデル

Bluetooth機能を搭載しているモデルを示します。

デジタイザーモデル

ディスプレイ（画面）にデジタイザーを搭載しているモデルを示します。
デジタイザーペン、リザーブペンが付属しています。

ご購入のモデルのシリーズ名、モデル名、仕様については、『dynabook ＊＊＊＊（お使いの機種名）シリーズをお使いのかたへ』を参照してください。

3 記載について

- 記載内容には、一部のモデルにのみ該当する項目があります。その場合は、「用語について」のモデル分けに準じて、「＊＊＊＊モデルの場合」や「＊＊＊＊シリーズのみ」などのように注記します。
- インターネット接続については、ブロードバンド接続を前提に説明しています。
- アプリケーションについては、本製品にプレインストールまたは本体のSSDや付属のCD／DVDからインストールしたバージョンを使用することを前提に説明しています。
- 本書では、コントロールパネルの操作方法について、表示方法を「カテゴリ」に設定していることを前提に説明しています。
  画面右上の［表示方法］が「大きいアイコン」または「小さいアイコン」になっている場合は、「カテゴリ」に切り替えてから操作説明を確認してください。
- 本書に記載している画面やイラストは一部省略したり、実際の表示とは異なる場合があります。
- 本書は、語尾をのばすカタカナ語の表記において、語尾に長音（ー）を適用しています。
  画面の表示と異なる場合がありますが、読み替えてご使用ください。
- 本書では、付属のペン*[1]による操作と、指で画面に触れる操作を、どちらも「タッチ」、「フリック」などと表現しています。

＊1 デジタイザーモデルのみ

4 Trademarks

- Microsoft、Windows及びWindowsロゴは、マイクロソフト企業グループの商標です。
  その他記載されている会社名および製品名は各社の商標または登録商標です。
- Windowsの正式名称は、Microsoft Windows Operating Systemです。
- Intel、インテル、インテルCoreは、アメリカ合衆国およびその他の国におけるIntel Corporationまたはその子会社の商標、または登録商標です。
- McAfee、マカフィーは、米国法人McAfee, Inc. またはその関係会社の米国またはその他の国における登録商標または商標です。
- SDロゴは商標です。（ ）
- HDMI、HDMI High-Definition Multimedia InterfaceおよびHDMIロゴは、HDMI Licensing LLCの登録商標または商標です。
- Adobe、Adobe ReaderはAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびに他の国における商標ならびに登録商標です。
- TRENDMICRO、ウイルスバスターおよびウイルスバスタークラウドは、トレンドマイクロ株式会社の登録商標です。
- デジタルアーツ/DIGITAL ARTS、ZBRAIN、アイフィルター/i-フィルターはデジタルアーツ株式会社の登録商標です。
- Bluetoothは、その商標権者が所有しており、東芝はライセンスに基づき使用しています。
- U.S. patents apply to this product. See http://patents.dts.com. Manufactured under license from DTS Licensing Limited. DTS, the Symbol, & DTS and the Symbol together are registered trademarks and DTS Studio Sound is a trademark of DTS, Inc. © DTS, Inc. All Rights Reserved.

本書に掲載の商品の名称やロゴは、それぞれ各社が商標および登録商標として使用している場合があります。

5 プロセッサ（CPU）に関するご注意

本製品に使われているプロセッサ（CPU）の処理能力は次のような条件によって違いが現れます。

- 周辺機器を接続して本製品を使用する場合
- ACアダプターを接続せずバッテリー駆動にて本製品を使用する場合
- マルチメディアゲームや特殊効果を含む映像を本製品にてお楽しみの場合
- 本製品を通常の電話回線、もしくは低速度のネットワークに接続して使用する場合
- 複雑な造形に使用するソフト（たとえば、運用に高性能コンピューターが必要に設計されているデザイン用アプリケーションソフト）を本製品上で使用する場合
- 気圧が低い高所にて本製品を使用する場合
  目安として、標高1,000メートル（3,280フィート）以上をお考えください。
- 目安として、気温5～30℃（高所の場合25℃）の範囲を超えるような外気温の状態で本製品を使用する場合

本製品のハードウェア構成に変更が生じる場合、CPUの処理能力が実際には仕様と異なる場合があります。
また、ある状況下においては、本製品は自動的にシャットダウンする場合があります。
これは、当社が推奨する設定、使用環境の範囲を超えた状態で本製品が使用された場合、お客様のデータの喪失、破損、本製品自体に対する損害の危険を減らすための通常の保護機能です。
なお、このようにデータの喪失、破損の危険がありますので、必ず定期的にデータを外部記録機器にて保存してください。また、プロセッサが最適の処理能力を発揮するよう、当社が推奨する状態にて本製品をご使用ください。

本製品には64ビットプロセッサが搭載されております。64ビット版OSでご使用の場合は、32ビット版のデバイスドライバーやアプリケーションが正しく動作しない場合があります。

6 著作権について

音楽、映像、コンピューター・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作者および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをする場合には、著作権法を遵守のうえ、適切な使用を心がけてください。

7 リリース情報について

「リリース情報」には、本製品を使用するうえでの注意事項などが記述されています。必ずお読みください。次の操作を行うと表示されます。

■Windows 8の場合

①スタート画面の一番下から上側にフリックする

②［すべてのアプリ］をタッチする

③［はじめに］の［ リリース情報］をタッチする

■Windows 7の場合

①［スタート］ボタン（ ）→［すべてのプログラム］→［はじめに］→［リリース情報］をタッチする

8 お願い

- 本体のSSDにインストールされている、または付属のCD／DVDからインストールしたシステム（OS）、アプリケーション以外をインストールした場合の動作保証はできません。
- Windows標準のシステムツール以外の方法で、パーティションを変更・削除・追加しないでください。ソフトウェアの領域を壊すおそれがあります。
- 本体のSSDにインストールされている、または付属のCD／DVDからインストールしたシステム（OS）、アプリケーションは、本製品でのみ利用できます。
- 購入時に定められた条件以外で、製品およびソフトウェアの複製もしくはコピーをすることは禁じられています。取り扱いには注意してください。
- 本製品の画像データは、本製品上で壁紙に使用する以外の用途を禁じます。
- パスワードを設定した場合は、忘れたときのために必ずパスワードを控えておいてください。パスワードを忘れてしまって、パスワードを解除できなくなった場合は、使用している機種（型番）を確認後、東芝PCあんしんサポートに連絡してください。有料にてパスワードを解除します。HDDパスワード（本製品の場合、SSDに対してパスワードが設定されています）を忘れてしまった場合は、SSDは永久に使用できなくなり、交換対応となります。この場合も有料です。またどちらの場合も、身分証明書（お客様自身を確認できる物）の提示が必要となります。
- 本製品はセキュリティ対策のためのパスワードの設定や、無線LANの暗号化設定などの機能を備えていますが、完全なセキュリティ保護を保証するものではありません。
  セキュリティの問題の発生や、生じた損害に関し、当社はいっさいの責任を負いません。
- 「ウイルスバスター」を使用している場合、ウイルス定義ファイルなどは、新種のウイルスやワーム、スパイウェア、クラッキングなどからコンピューターを保護するためにも、常に最新の状態で使用する必要があります。本製品に用意されている「ウイルスバスター」は、インターネットに接続していると自動的に最新の状態に更新されますが、90日間の使用制限があります。90日を経過するとウイルスチェック機能を含めて、すべての機能がご使用できなくなります。
  ウイルスチェックが全く行われない状態となりますので、必ず期限切れ前に有料の正規サービスへ登録するか、ほかのウイルスチェック／セキュリティ対策ソフトを導入してください。

- ご使用の際は必ず本書をはじめとする各種説明書と『ソフトウェアに関する注意事項』、Windowsのセットアップ時に表示されるライセンス条項およびエンドユーザー使用許諾契約書をお読みください。
- アプリケーション起動時に使用許諾書が表示された場合は、内容を確認し、同意してください。使用許諾書に同意しないと、アプリケーションを使用することはできません。一部のアプリケーションでは、一度使用許諾書に同意すると、以降起動時に使用許諾書が表示されなくなります。リカバリーを行った場合には再び使用許諾書が表示されます。
- 『東芝保証書』は、記入内容を確認のうえ、大切に保管してください。

本製品のお客様登録（ユーザー登録）をあらかじめ行っていただくようお願いしております。当社ホームページで登録できます。

参照 お客様登録について『オンラインマニュアル』

9 ［ユーザーアカウント制御］画面について

操作の途中で［ユーザーアカウント制御］画面が表示された場合は、そのメッセージを注意して読み、開始した操作の内容を確認してから、画面の指示に従って操作してください。
パスワードの入力を求められた場合は､管理者アカウントのパスワードで認証を行ってください。

10 環境依存文字について

JIS規格以外の文字を環境依存文字といいます。
ユーザーアカウント名やフォルダー名に環境依存文字が含まれていると、ファイルの読み込みや保存などが正常に動作しないことがあります。
ファイル名やファイル内の文字列に環境依存文字が含まれていると、ファイル名が「?」などのように正しく表示されず、正常に動作しないことがあります。
また、アプリケーション上でファイルの編集中に入力した文字列に環境依存文字が含まれていると、作成したファイル上で正しく表示されないことがあります。
このような場合には、環境依存文字を含まない文字列に変更してください。
CD／DVDなどの記録メディアにデータを書き込むときは、環境依存文字が含まれていないことをあらかじめ確認してから作業を行ってください。

11 データのバックアップについて

重要な内容は必ず、定期的にバックアップをとって保存してください。
バックアップとはSSDやソフトウェアの故障などでファイルが使用できなくなったときのために、あらかじめファイルを記録メディアなどにコピーしておくことです。
本製品は次のような場合、スリープ、休止状態が無効になり、本体内の記憶内容が変化し、消失するおそれがあります。

- 誤った使いかたをしたとき
- 静電気や電気的ノイズの影響を受けたとき
- 長期間使っていなかったために、バッテリー（バッテリーパック、時計用バッテリー）の充電量がなくなったとき
- 故障、修理、バッテリー交換のとき

記憶内容の変化／消失については、SSDや記録メディアなどに保存した内容の損害については当社はいっさいその責任を負いませんので、あらかじめご承知ください。

12 「Office」のライセンス認証について

＊Office搭載モデルのみ

「Office」を使用するには、Windowsのセットアップ後にライセンス認証が必要です。

■Windows 8の場合

①スタート画面の［Microsoft Office］をタッチする

■Windows 7の場合

①［スタート］ボタン（ ）→［すべてのプログラム］→［Microsoft Office］をタッチする

以降は、画面の指示に従ってください。
ライセンス認証にはプロダクトキーが必要です。
プロダクトキーは、付属の「Office」のパッケージを確認してください。

1章

パソコンの取り扱い

この章では、Windowsのセットアップと基本操作、電源の切りかた／入れかたなど、お買い上げいただいてから実際に使い始めるまでの準備と、本体各部の名前や基本的な使いかたについて説明しています。

1 使う前に確認する

1 箱を開けたらまずはこれから

■箱の中身の確認

『dynabook ＊＊＊＊（お使いの機種名）シリーズをお使いのかたへ』を参照して、付属品がそろっているか、確認してください。足りない物がある場合や、破損している物がある場合は、東芝PCあんしんサポートにお問い合わせください。

参照 東芝PCあんしんサポート『東芝PCサポートのご案内』

■型番と製造番号を確認

パソコン本体の背面に型番と製造番号が記載されています。保証書に同じ番号が記載されていることを確認してください。番号が違う場合や、不備があった場合は、東芝PCあんしんサポートにお問い合わせください。

参照 記載位置について「本章 2 - 3 背面図」

2 忘れずに行ってください

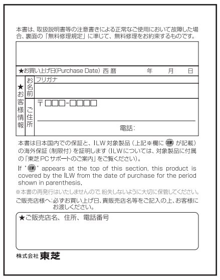
■はじめに

ご使用の際は必ず本書をはじめとする各種説明書と『ソフトウェアに関する注意事項』、Windowsのセットアップ時に表示されるライセンス条項およびエンドユーザー使用許諾契約書をお読みください。

■保証書は大切に保管

故障やトラブルが起こった場合、保証書があれば保証期間中（保証期間については保証書を確認してください）は東芝の無料修理サービスが受けられます。

保証書に記載の内容を読んで、確認したあと、大切に保管してください。


本書は、取扱説明書等の注意書きによる正常なご使用において故障した場合、裏面の「無料修理規定」に準じて、無料修理をお約束するものです。

★お買い上げ日(Purchase Date) 西暦　年　月　日

★お客様情報　お名前　フリガナ

ご住所　〒□□□-□□□□

電話：

本書は日本国内での保証と、ILW対象製品（上記※欄に ILW が記載）の海外保証（制限付）を証明します（ILWについては、対象製品に付属の「東芝PCサポートのご案内」をご覧ください）。

If "ILW" appears at the top of this section, this product is covered by the ILW from the date of purchase for the period shown in parenthesis.

※本書の再発行はいたしませんので、紛失しないように大切に保管してください。

ご販売店様へ：必ずお買い上げ日、貴販売店名等をご記入の上、お客様にお渡しください。

★ご販売店名、住所、電話番号

株式会社東芝

■海外保証を受けるには

海外で使用するときは「海外保証（制限付）」（ILW:International Limited Warranty）により、海外の所定の地域で、保証書に記載の無料修理規定および制限事項・注意事項の範囲内で修理サービスを利用できます。

利用方法、保証の詳細は、『東芝PCサポートのご案内』の記載内容および保証書に記載の無料修理規定を読んで、確認してください。

3 最適な場所で使う

⚠注意

- 本製品を持って振り回さない
  ご使用の際には、必ず周囲の安全を確認し、本製品をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。
  ほかの人にぶつけたりして、けがをさせるおそれがあります。

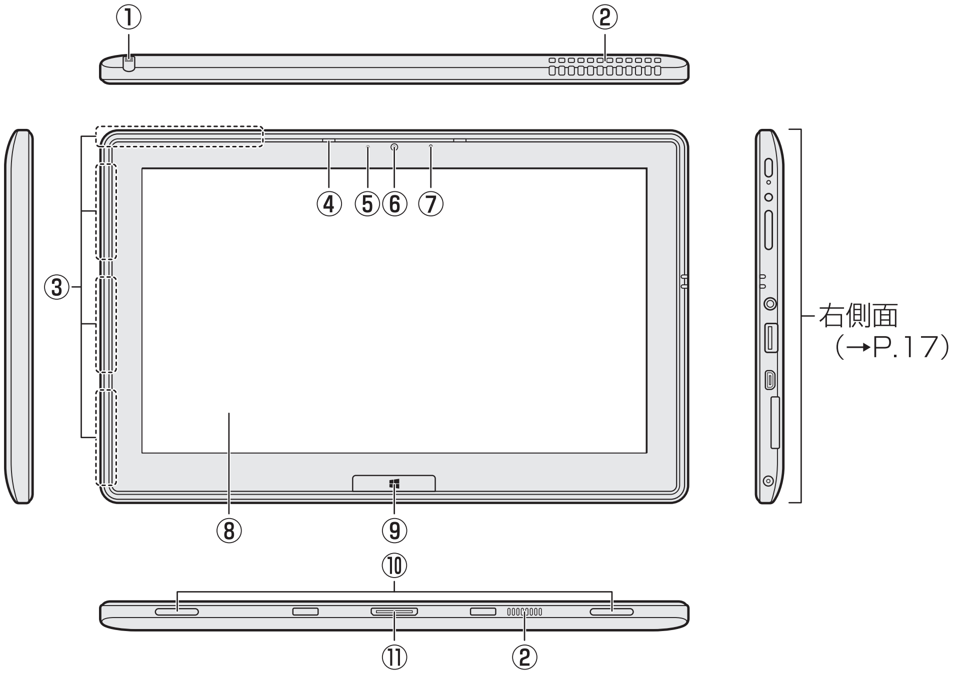
人間にとって住みやすい温度と湿度の環境が、パソコンにも最適な環境です。
次の点に注意して置き場所、使う場所を決めてください。

- 安定した場所に置きましょう。
  不安定な場所に置くと、パソコンが落ちたり倒れたりするおそれがあり、故障やけがにつながります。
- 温度や湿度が高いところは避けましょう。
  暖房や加湿器の送風が直接あたる場所はよくありません。
- 強い磁気を発するものの近くで使用しないでください。
  磁石はもちろん、スピーカー、テレビの近くは磁気の影響を受けます。磁気ブレスレットなどもパソコンを使用するときははずすようにしましょう。
- 照明や日光があたる位置も考慮しましょう。
  照明や日光が直接ディスプレイにあたると、反射して画面が見づらくなります。
- ラジオやテレビの近くで使用しないでください。
  ラジオやテレビの受信障害を引き起こすことがあります。
- 無線通信装置から離してください。
  携帯電話も無線通信装置の一種です。
- パソコンの通風孔をふさがないように置きましょう。
  通風孔はパソコン本体内部の熱を外部に逃がすためのものです。ふさぐと、パソコン本体内部が高温となるため、本来の性能を発揮できない原因や故障の原因となります。

2 各部の名称
ー外観図ー

ここでは、各部の名前と機能を簡単に説明します。
それぞれの詳細は、各参照ページを確認してください。

1 前面図



① **リザーブペン**＊1

参照 『オンラインマニュアル』

② **通風孔**

パソコン本体内部の熱を外部に逃がすためのものです。
ふさがないでください。

③ この部分に無線通信用のアンテナが内蔵されています。

④ **マイク**

⑤ **Webカメラインジケーター**

⑥ **Webカメラ**

写真や動画を撮影するためのものです。

⑦ **照度センサー**＊2

この部分に本体液晶ディスプレイの明るさを自動調整するためのセンサーが内蔵されています。照度センサーをふさがないでください。正常に調整されない場合があります。

⑧ **ディスプレイ（画面）**

⑨ **Windowsボタン**

スタート画面を表示します。

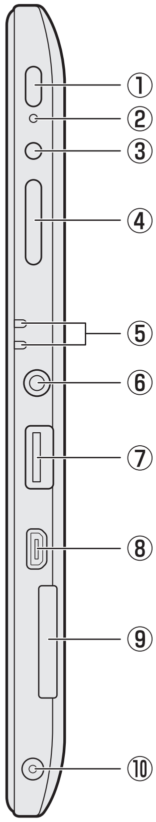
⑩ **スピーカー**

⑪ **ドッキングポート**

＊1 デジタイザーモデルのみ
＊2 Windows 8でのみ有効です。

参照 ペンボタンとテールスイッチを無効にするには『オンラインマニュアル』

2 右側面図



① 電源スイッチ（P.23、47）

② シャットダウンホール
パソコンが応答しない場合は、先の細い丈夫なもの（クリップを伸ばしたものなど）で押してください。

参照 「4章 1 - 3 - Q パソコンが応答しなくなった」

③ オリエンテーションロックボタン
画面が縦や横に回転しないように、向きを固定するスイッチです。

④ 音量ボタン（音量大（＋）、音量小（－）ボタン）
音量を調整します。

⑤ システムインジケーター（P.18）

⑥ ヘッドセット/ヘッドホン端子
ヘッドセット／ヘッドホンを接続します。

⑦ USBコネクタ
USB対応機器を接続します。USB3.0規格に対応しています。

⑧ HDMI HDMI（micro）出力端子
HDMI（micro）ケーブルを接続して、HDMI入力対応機器（テレビ、外部ディスプレイなど）に本製品の映像を表示します。

⑨ SD ブリッジメディアスロット
SDメモリカード、マルチメディアカードなどをセットします。

⑩ DC IN XXV 電源コネクタ（P.22）

⚠注意

- **クリップなどを使う場合は、取り扱いに十分注意する**
  先端のとがった部分でけがをするおそれがあります。

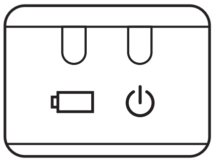
お願い シャットダウンホールについて

- シャットダウンホールを押すと、保存されていないデータは消失します。

1章 パソコンの取り扱い

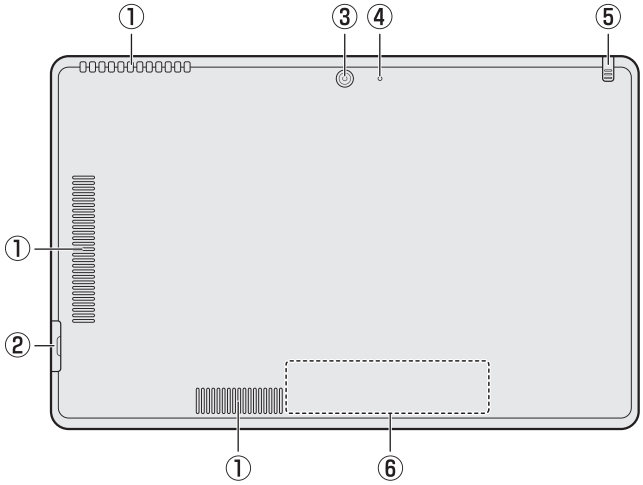
1 システムインジケーター

システムインジケーターは、点灯状態によって、パソコン本体がどのような動作をしているのかを知ることができます。



	Battery LED	電源コードとACアダプター接続の状態やバッテリーの状態 参照 P.48
	Power LED	電源の状態　参照 P.48

3 背面図



①通風孔

②SD ブリッジメディアスロット

③Webカメラ

④Webカメラインジケーター

⑤リザーブペン

＊デジタイザーモデルのみ

参照 『オンラインマニュアル』

⑥型番と製造番号

型番（機種名）と製造番号が記載されています。

⚠危 険

- 本製品に内蔵されているバッテリーパックを使用する

  寿命などで交換する場合は、東芝PCあんしんサポートに依頼してください。バッテリーパックの交換は、保証期間内でも有料になります。

お願い

■ 本製品のメモリ、バッテリーについて

- 本製品はメモリの増設が行えません。
- 本製品にはバッテリーパックが内蔵されていますが、お客様ご自身で取りはずしや交換をしないでください。

■ 本製品の背面について

- 通風孔は、パソコン本体内部の熱を外部に逃がすためのものです。

  通風孔を通して外の空気を取り込んだり、内部の空気を排出したりすることでパソコン内部に熱がこもるのを防いでいます。

  通風孔をふさがないでください。

  通風孔の表面上のほこりは、やわらかい布でふき取ってください。通風孔の内部にほこりが入ったときは、東芝PCあんしんサポートに点検を依頼してください。この場合、有料となります。
- 本製品の背面には、正規のWindowsであることを証明する、「Windows 8」というMicrosoft® のラベルが貼ってあります。

  はがしたり汚したりしないでください。

■ 機器への強い衝撃や外圧について

- あらかじめ、次の説明を確認してください。

参照 「付録 1 - 1 - 機器への強い衝撃や外圧について」

1章 パソコンの取り扱い

3 Windows(ウィンドウズ)を使えるようにする

1 Windowsセットアップ

初めて電源を入れたときは、Windowsのセットアップを行います。
Windowsのセットアップは、パソコンを使えるようにするために必要な操作です。
作業を始める前に、付属の冊子『安心してお使いいただくために』を必ず読んでください。特に電源コードやACアダプターの取り扱いについて、注意事項を守ってください。

お願い セットアップをするときの注意

■ 周辺機器は接続しないでください

- セットアップを開始する前に、パソコン本体に電源コードとACアダプター以外のものが接続されていないことを確認してください。
  電源コードとACアダプター以外のものが接続されている場合は、パソコン本体の電源を切った状態であらかじめ取りはずしてください。
  セットアップは電源コードとACアダプターのみを接続して行います。
  セットアップが完了するまでは、プリンター、マウスなどの周辺機器やLANケーブルは接続しないでください。

■ 途中で電源を切らないでください

- セットアップの途中で電源スイッチを押したり電源コードを抜くと、故障や起動できない原因になり、修理が必要となることがあります。

■ 操作は時間をあけないでください

- セットアップ中にタッチキーボードの操作が必要な画面があります。時間をあけないで操作を続けてください。
  しばらく操作しないと、画面に表示される内容が見えなくなる場合があります。これは省電力機能が動作したためで、故障ではありません。
  もう一度表示するには、画面をさわってください。
  画面をさわっても復帰せず、Power ⏻ LEDが点滅または消灯している場合は、電源スイッチを押してください。

1 電源コードとACアダプターを接続する

⚠警告

- **ACアダプターは本製品に付属のものを使用する**
  本製品付属以外のACアダプターを使用すると電圧や（+）（−）の極性が異なっていることがあるため、火災・破裂・発熱のおそれがあります。
- **パソコン本体にACアダプターを接続する場合、本書に記載してある順番を守って接続する**
  順番を守らないと、ACアダプターのDC出力プラグが帯電し、感電またはけがをする場合があります。
  また、ACアダプターのプラグをパソコン本体の電源コネクタ以外の金属部分に触れないようにしてください。

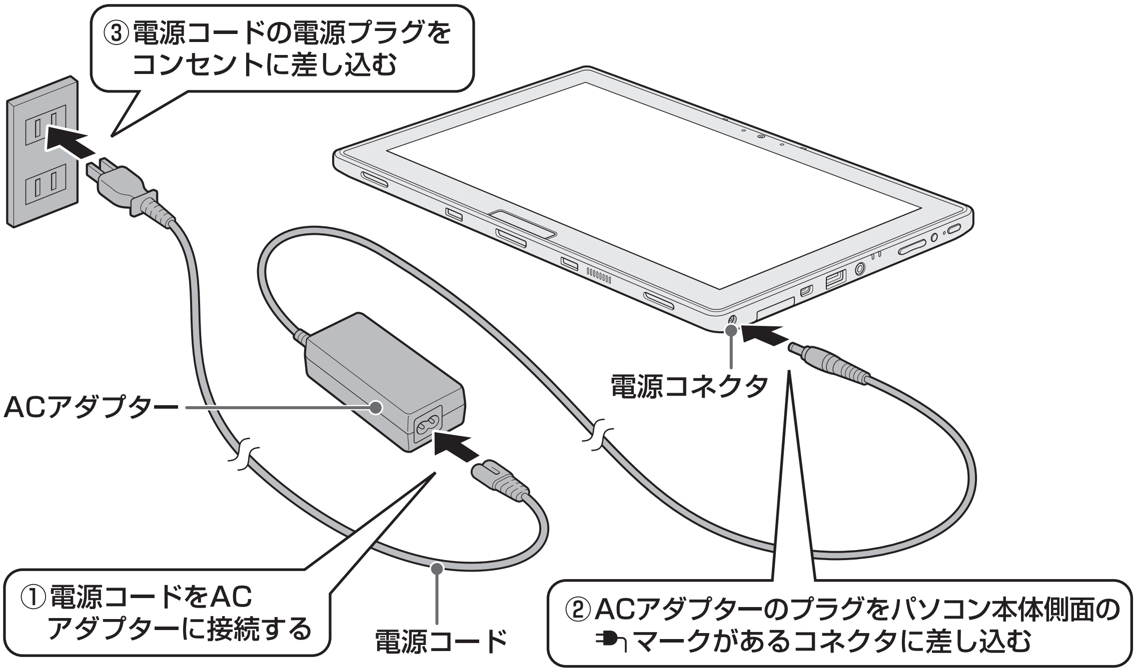
⚠注意

- **付属の電源コードは、本製品付属のACアダプター以外には使用しない**
  付属の電源コードは、本製品付属のACアダプター専用です。

お願い 電源コード、ACアダプターの取り扱いについて

- あらかじめ、次の説明を確認してください。
  参照 「付録 1 - 2 電源コード、ACアダプターの取り扱いについて」

次の図の①→②→③の順で行ってください。



接続すると

システムインジケーターのBattery LEDがオレンジ色に点灯し、バッテリーへの充電が自動的に始まります。Battery LEDが白色に点灯したら、充電完了です。

参照 Battery LED「本章 5 - 2 - 電源に関する表示」

メモ

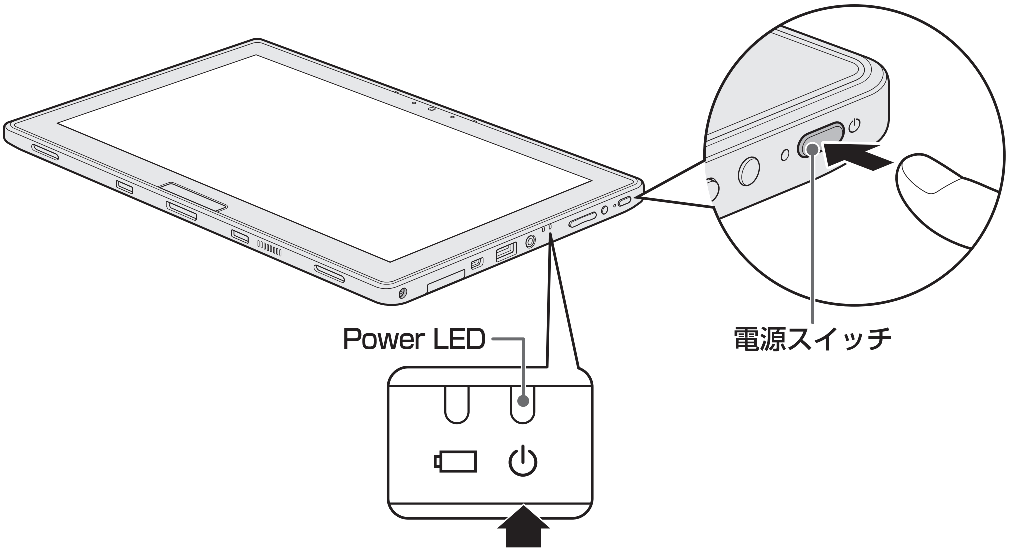
- バッテリー充電中でもパソコンを使用することができます。

参照 詳細について『オンラインマニュアル』

2 電源を入れる

1 電源スイッチを押し、指をはなす

確実に電源スイッチを押してください。
Power ⏻ LEDが白色に点灯することを確認してください。



初めて電源を入れたときは、Windowsのセットアップを行ってください。

3 Windowsのセットアップ

セットアップには約10～20分かかります。

Windows 8の場合

1 Windowsと東芝のライセンス条項の内容を確認し、［ライセンス条項に同意します］の左にある □ をタッチする

ライセンス条項に同意しないと、セットアップを続行することはできず、Windowsやパソコンを使用することはできません。
表示されている条項文の続きを表示するには、画面の右側にある ボタンをタッチします。
□ をタッチすると ☑ になります。

2 ［同意する］をタッチする

［パーソナル設定］画面が表示されます。

3 好きな色を選択する

Windows画面上の基本色を設定できます。表示されているバーの中から好みの色をタッチしてください。
色はあとから変更できます。

次の手順の前に「コンピューター名」とは

コンピューター名をつけるのは、使用するパソコンをほかのパソコンと区別するためです。ネットワークに接続する場合は、必ず設定してください。

メモ　タッチキーボード

- Windowsセットアップで文字や記号を入力するときは、タッチキーボードを使用します。入力欄をタッチすると画面にキーボードが表示されます。入力したい文字や記号のキーをタッチしてください。



4 PC（コンピューター）名を入力する

半角英数字で任意の文字列を入力してください。**半角英数字以外は使用しないでください。**

「|」（カーソル）が表示されている位置から文字の入力ができます。
同じネットワークに接続するコンピューターとは別の名前にしてください。

「dynabook」と入力するときは、タッチキーボードで D Y N A B O O K とタッチします。

■キーをタッチしても表示されないときは

キーをタッチしても文字が表示されない場合は、入力欄に「|」（カーソル）が点滅しながら表示されていることを確認してください。表示されている位置から文字を入力できます。表示されていないときは、［PC名］の下の欄をタッチしてください。

■入力を間違えたときは

入力を間違えたときは次の操作で文字を削除して、もう一度入力しましょう。

- カーソルの左側の文字を削除する .... ⌫ をタッチする

カーソルを左右に動かすには、‹ キーまたは › キーを押します。

5 ［次へ］をタッチする

［ワイヤレス］画面が表示されます。

6 無線LANの設定を省略するので、［後でワイヤレス ネットワークに接続する］をタッチする

無線LAN機能を使ったネットワークへの接続は、セットアップ完了後に行えるので、ここでは省略した場合について説明します。

［設定］画面が表示されます。

7 ［簡単設定を使う］をタッチする

パソコンを使用するうえでの基本的な設定は、セットアップ完了後に変更できるので、ここでは「簡単設定」を選択した場合について説明します。

［PCへのサインイン］画面が表示されます。

次の手順の前に「ユーザー名」とは

ユーザー名は、Windowsを使用しているユーザーをパソコン側で識別するための名前です。

次の手順では、管理者ユーザーのユーザー名を登録します。
管理者ユーザーとは、ネットワークやパソコンを管理する権限を持つユーザーのことです。複数のユーザーで1台のパソコンを使用する場合、管理者ユーザーは、ほかのユーザーに対して使用制限の設定も行えます。

管理者以外のユーザーは、Windowsのセットアップ後に登録できます。

8 ユーザー名を入力する

[ユーザー名]と書いてある右の欄に、管理者ユーザーの名前を入力してください。**ユーザー名は、半角英数字で入力してください。**

■ユーザー名に使えない文字列

ユーザー名を入力するとき、次の文字列を使用しないでください。

CON、PRN、AUX、NUL、COM1、COM2、COM3、COM4、COM5、COM6、COM7、COM8、COM9、LPT1、LPT2、LPT3、LPT4、LPT5、LPT6、LPT7、LPT8、LPT9、@、(スペース)

次の手順の前に「パスワード」(Windowsパスワード)とは

パスワードとは、それを入力しないと次のステップに進めないようにできる、特定の文字列です。
ここでは、Windowsを起動するときに入力しないと、Windowsを起動できないようにするためのパスワードを設定します。これを「Windowsパスワード」と呼びます。

お願い

- パスワードを忘れると、Windowsを起動するためには、「リカバリー」という、購入時の状態に戻す処理をするしか、方法がなくなってしまいます。その場合、購入後にパソコンに保存したデータやアプリケーションなどはすべて消失するので、パスワードは忘れないようにしてください。

9 パスワードを入力する

[パスワード]と書いてある右の欄に、Windowsパスワードとして設定したい文字を入力してください。
Windowsパスワードは半角英数字で127文字まで設定できます。8文字以上で設定することを推奨します。英字の場合、大文字と小文字は区別されます。
Windowsパスワードを入力しないでそのまま次の画面へ進むこともできますが、セキュリティ上、設定することを強くおすすめします。

入力した文字は「●●●●●」で表示されるため、画面を見て確認することはできません。入力し間違えても画面ではわからないので、気をつけて入力してください。

10 パスワードをもう一度入力する

[パスワードの確認入力]と書いてある右の欄に、手順 9 で入力したWindowsパスワードを、もう一度入力してください。

次の手順の前に「パスワードのヒント」とは

設定したWindowsパスワードを忘れてしまったときのために、あらかじめヒントを設定しておくと、パスワード入力画面で表示させることができます。

11 パスワードのヒントを入力する

［パスワードのヒント］と書いてある右の欄に、それを読めば自分だけはパスワードを思い出せるようなヒントを入力してください。

12 ［完了］をタッチする

13 パソコンの設定が準備される

Windowsセットアップが終了すると、コンピューターがユーザーの設定を準備します。しばらくお待ちください。

ロック画面（画面左下に大きく日時が表示されている状態）が表示された場合は、画面の下側から上に向かってフリックしてください。次の画面に進みます。
パスワードを入力する画面が表示された場合は、パスワードを入力して Enter キーをタッチしてください。

Windowsが起動します。

メモ

- しばらく操作しないと、画面に表示される内容が見えなくなる場合があります。これは省電力機能が動作したためで、故障ではありません。
  もう一度表示するには、画面をさわってください。
  画面をさわっても復帰せず、Power ⏻ LEDが点滅または消灯している場合は、電源スイッチを押してください。

Windows 7の場合

メモ

- ［Windowsのセットアップ］画面が表示されるまで、しばらく時間がかかります。また、モデルによっては必要なアプリケーションをインストールしているメッセージ画面が表示される場合がありますが、この間に**絶対に電源を切らないようにしてください。**
- Windowsのセットアップが完了するまで、音量の調節はできません。

■OSのタイプを選択する画面が表示された場合

＊ **［Windowsのセットアップ］画面が表示された場合は、「本項 - Windows 7のセットアップ」に進んでください。**

パソコンが起動し、OSのタイプを選択する画面が表示された場合は、Windows 7のOSのタイプ（32ビット版と64ビット版）を選択します。
使い慣れたソフトや周辺機器を活用できる32ビット版、対応しているアプリケーションを使えばより高いパフォーマンスを発揮できる64ビット版、それぞれ目的に応じて選択してください。
本製品には、あらかじめWindows 7 32ビット版がインストールされています。
Windows 7 64ビット版を選択した場合は、インストールが必要になりますので、セットアップ開始までに約2～2.5時間かかります。

1 インストールするOSタイプの左にある ○ をタッチする

32ビット版のときは［Windows 7 32ビットバージョン］を、64ビット版のときは［Windows 7 64ビットバージョン］をタッチしてください。
をタッチするとになります。
○ をタッチすると ◉ になります。

2 ［次へ］ボタンをタッチする

■Windows 7　32ビット版を選択した場合

終了画面が表示されます。
［終了］ボタンをタッチし、続けて「本項 - Windows 7のセットアップ」に進んでください。

■Windows 7　64ビット版を選択した場合

警告メッセージ画面が表示されます。
「3章 3 - 2 SSDからパソコンを初期状態に戻す」の手順 5 以降の操作を行ってください。

■Windows 7のセットアップ

1 ［国または地域］欄に「日本」と表示されていることを確認し、［次へ］ボタンをタッチする

ユーザー名とコンピューター名を入力する画面が表示されます。

次の手順の前に「ユーザー名」とは

ユーザー名は、Windowsを使用しているユーザーをパソコン側で識別するための名前です。

次の手順では、管理者ユーザーのユーザー名を登録します。
管理者ユーザーとは、ネットワークやパソコンを管理する権限を持つユーザーのことです。複数のユーザーで1台のパソコンを使用する場合、管理者ユーザーは、ほかのユーザーに対して使用制限の設定も行えます。

管理者以外のユーザーは、Windowsのセットアップ後に登録できます。

メモ　タッチキーボード

Windowsセットアップで文字や記号を入力するときは、タッチキーボードを使用します。入力欄をタッチすると画面にキーボードが表示されます。入力したい文字や記号のキーをタッチしてください。



タッチキーボードは、Windowsセットアップの画面の上に表示されることがあります。その場合は、キーボードの上辺部分をドラッグ アンド ドロップして表示位置を動かすことができます。

2 ユーザー名を入力する

[ユーザー名]と書いてある下の欄に、管理者ユーザーの名前を入力してください。**ユーザー名は、半角英数字で入力してください。**

「dynabook」と入力するときは、タッチキーボードで[D][Y][N][A][B][O][O][K]とタッチします。

■ユーザー名に使えない文字列

ユーザー名を入力するとき、次の文字列を使用しないでください。

CON、PRN、AUX、NUL、COM1、COM2、COM3、COM4、COM5、COM6、COM7、COM8、COM9、LPT1、LPT2、LPT3、LPT4、LPT5、LPT6、LPT7、LPT8、LPT9、@、(スペース)

■キーをタッチしても表示されないときは

キーをタッチしても文字が表示されない場合は、入力欄に「|」(カーソル)が点滅しながら表示されていることを確認してください。表示されている位置から文字を入力できます。表示されていないときは、[ユーザー名を入力してください]の下の欄をタッチしてください。

■入力を間違えたときは

入力を間違えたときは次の操作で文字を削除して、もう一度入力しましょう。

- カーソルの左側の文字を削除する .... [Bksp]キーをタッチする
- カーソルの右側の文字を削除する .... [Del]キーをタッチする

次の手順の前に「コンピューター名」とは

コンピューターに名前をつけるのは、使用するパソコンをほかのパソコンと区別するためです。ネットワークに接続する場合は、必ず設定してください。

3 コンピューター名を入力する

[コンピューター名を入力してください]と書いてある下の欄に、半角英数字で任意の文字列を入力してください。

半角英数字以外は使用しないでください。また、同じネットワークに接続するコンピューターとは別の名前にしてください。

4 [次へ]ボタンをタッチする

[ユーザーアカウントのパスワードを設定します]画面が表示されます。

次の手順の前に「パスワード」(Windowsパスワード)とは

パスワードとは、それを入力しないと次のステップに進めないようにできる、特定の文字列です。
ここでは、Windowsを起動するときに入力しないと、Windowsを起動できないようにするためのパスワードを設定します。これを「Windowsパスワード」と呼びます。

お願い

- パスワードを忘れると、Windowsを起動するためには、「リカバリー」という、購入時の状態に戻す処理をするしか、方法がなくなってしまいます。その場合、購入後にパソコンに保存したデータやアプリケーションなどはすべて消失するので、パスワードは忘れないようにしてください。

5 パスワードを入力する

[パスワードを入力してください]と書いてある下の欄に、Windowsログオンパスワードとして設定したい文字を入力してください。
Windowsログオンパスワードは半角英数字で127文字まで設定できます。8文字以上で設定することをおすすめします。英字の場合、大文字と小文字は区別されます。
Windowsログオンパスワードを入力しないでそのまま次の画面へ進むこともできますが、セキュリティ上、設定することを強くおすすめします。

入力した文字は「●●●●●」で表示されるため、画面を見て確認することはできません。入力し間違えても画面ではわからないので、気をつけて入力してください。

6 パスワードをもう一度入力する

[パスワードをもう一度入力してください]と書いてある下の欄に、手順 5 で入力したWindowsログオンパスワードを、もう一度入力してください。

次の手順の前に「パスワードのヒント」とは

設定したWindowsパスワードを忘れてしまったときのために、あらかじめヒントを設定しておくと、パスワード入力画面で表示させることができます。

7 パスワードのヒントを入力する

[パスワードのヒントの入力]と書いてある下の欄に、それを読めば自分だけはパスワードを思い出せるようなヒントを入力してください。

8 [次へ]ボタンをタッチする

[ライセンス条項をお読みになってください]画面が表示されます。

9 **マイクロソフトと東芝のライセンス条項の内容を確認し、それぞれの[ライセンス条項に同意します]の左にある□をタッチする**

ライセンス条項に同意しないと、セットアップを続行することはできず、Windowsやコンピューターを使用することはできません。
表示されている条項文の続きを表示するには、画面の右側にある ▼ ボタンをタッチします。

10 **[次へ]ボタンをタッチする**

[コンピューターの保護とWindowsの機能の向上が自動的に行われるように設定してください]画面が表示されます。

11 **[推奨設定を使用します]をタッチする**

[日付と時刻の設定を確認します]画面が表示されます。

12 **日付と時刻を確認する**

コンピューターの内蔵時計の日付と時刻が合っているかどうか確認し、合っていない場合は、正しい内容に設定してください。
[タイムゾーン]は、欄の右にある ▼ をタッチして、表示された地名から「大阪、札幌、東京」をタッチしてください。
年・月の左右にある ◀ または ▶ をタッチすると、月ごとに順に表示が切り替わります。
年・月を合わせてから、該当する日をタッチしてください。
時刻表示の右にある ▲ または ▼ をタッチすると、順に数字が切り替わります。
変更したい時／分／秒をタッチしてから ▲ または ▼ をタッチしてください。

メモ

- 日付と時刻が合っていないと、本製品に用意されているウイルスチェックソフトなどの使用期限のあるアプリケーションでは、アプリケーションの設定後から適用される使用期限などが、正しく計測されないことがあります。そのため、この時点で、日付と時刻が合っていることを必ず確認してください。
- 日付と時刻はWindowsセットアップ終了後に設定することもできます。

参照 日付と時刻の設定『Windowsヘルプとサポート』

13 **[次へ]ボタンをタッチする**

[ワイヤレスネットワークへの接続]画面が表示された場合は、手順 **14** に進んでください。
[Windowsで設定の最終処理を実行しています]画面が表示された場合は、手順 **15** に進んでください。

14 **無線LANの設定を省略するので、[スキップ]ボタンをタッチする**

無線LAN機能を使ったネットワークへの接続は、セットアップ完了後に行えるので、ここでは省略した場合について説明します。

15 ユーザーの設定が準備される

Windowsセットアップが終了すると、コンピューター内にユーザーの設定が用意されます。
モデルによっては、作業を完了するためにシステムが再起動します。
しばらくお待ちください。

パスワード入力画面が表示された場合は、Windowsログオンパスワードを入力し、Enterキーをタッチしてください。

Windowsが起動します。

メモ

- しばらく操作しないと、画面に表示される内容が見えなくなる場合があります。これは省電力機能が動作したためで、故障ではありません。もう一度表示するには、画面をさわってください。
画面をさわっても復帰せず、Power LEDが点滅または消灯している場合は、電源スイッチを押してください。
- パソコンを起動するときに流れるWindowsの起動音がまれに途切れる場合がありますが、故障ではありません。

4 「東芝サービスステーション」について

「東芝サービスステーション」は、ソフトウェアのアップデートや重要なお知らせを自動的に提供するためのソフトウェアです。以降の説明をお読みのうえ、「東芝サービスステーション」を使用して、本製品を最新の状態に保つことを強くおすすめします。
このソフトウェアは本製品の識別情報などを当社のサーバーへ送信します。使用できるように設定する前に、詳しい内容を説明した使用許諾書が表示されますので、よくお読みください。

メモ

- 「東芝サービスステーション」を使用するには、インターネットに接続できる環境が必要です。
- 「東芝サービスステーション」は、本製品に用意されているアプリケーション、ユーティリティ、ドライバーやBIOSのうち、一部についてアップデートをお知らせします。「あなたのdynabook.com」や「dynabook.com」の「よくある質問 FAQ」やウイルス・セキュリティ情報と「Microsoft Update」などをあわせてご利用ください。

インストール方法

「東芝サービスステーション」は購入時の状態ではインストールされていません。次の手順でインストールしてください。

1 次の操作を行う

■Windows 8の場合

①スタート画面の一番下から上側にフリックする
②［すべてのアプリ］をタッチする
③［ アプリケーションの再インストール］をタッチする

■Windows 7の場合

①［スタート］ボタン（ ）→［すべてのプログラム］→［アプリケーションの再インストール］をタッチする

2 ［セットアップ画面へ］をタッチする

3 ［ユーティリティー］タブをタッチする

4 画面左側の［TOSHIBA Service Station］をタッチし、画面右側の［「東芝サービスステーション」のセットアップ］をタッチする

5 表示されるメッセージに従ってインストールを行う

「XXXXX（ファイル名）を実行または保存しますか？」というメッセージが表示された場合は、［実行］ボタンをタッチしてください。

設定方法

「東芝サービスステーション」を使用できるように設定する方法は、次のとおりです。

1 次の操作を行う

■Windows 8の場合

①スタート画面の一番下から上側にフリックする
②[すべてのアプリ]をタッチする
③[TOSHIBA]の[Service Station]をタッチする

■Windows 7の場合

①パソコン起動後、しばらくしてから通知領域に表示されるメッセージを確認する
メッセージ「東芝から重要なお知らせがあります。ココを確認してください。」が表示されるので、このメッセージをタッチしてください。
または、[スタート]ボタン（ ）→［すべてのプログラム］→［TOSHIBA］→［サポート＆リカバリー］→［サービスステーション］をタッチしてください。

「東芝サービスステーション」が起動します。

初めて起動したときは、本ソフトウェアに関する詳しい説明（使用許諾書）が表示されます。

2 内容を確認し、[同意する]ボタンをタッチする

使用許諾書に同意すると、以降は、ソフトウェアのアップデートや当社からのお知らせを検出する機能が、パソコンを起動すると自動的に動作します。

使用方法

■ソフトウェアのアップデートがある場合

本製品に用意されているアプリケーション、ユーティリティ、ドライバーやBIOSにアップデートがあることを検知すると、メッセージ「X件の新しいソフトウェアのアップデート（更新）があります。」が表示されます。
メッセージを確認し、画面の指示に従って操作してください。

■本製品に対するお知らせがある場合

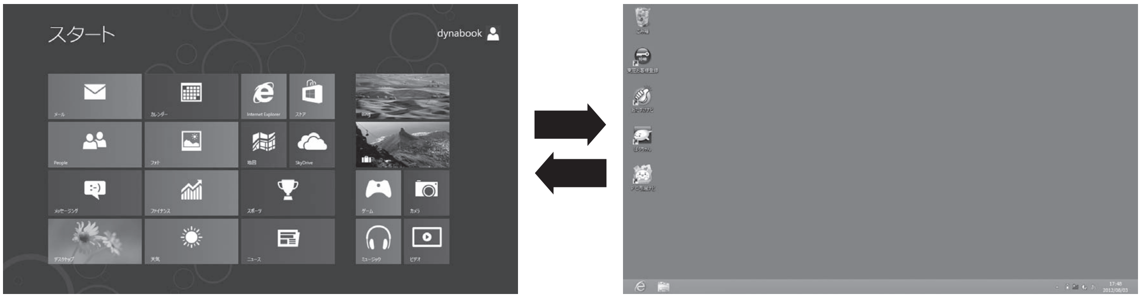
本製品に対する当社からのお知らせが準備されたことを検出すると、メッセージ「X件の新しいお知らせがあります。」が表示されます。
メッセージを確認し、画面の指示に従って操作してください。

手動で、ソフトウェアのアップデート、またはお知らせを確認したい場合は、「東芝サービスステーション」を起動して［すべてのアップデートを確認］をタッチしてください。

4 Windows 8について

Windows 8の画面構成やメニューの位置は、Windows 7などの従来のWindowsとは異なっています。
従来のWindowsとWindows 8で大きく異なる点は、メイン画面が2種類あることです。
起動して最初に表示される「スタート画面」と、従来のWindowsに似ている「デスクトップ画面」があります。

<スタート画面> **<デスクトップ画面>**



（表示例） （表示例）

1 画面の切り替えについて

スタート画面とデスクトップ画面の切り替えかたについて説明します。
目的や好みに応じて画面を使い分けてください。

❑スタート画面からデスクトップ画面に切り替える

1 ［デスクトップ］をタッチする

＊［デスクトップ］アイコン（タイル）は、デスクトップ画面の壁紙によって表示されるアイコンが異なります。
またモデルや使用状況により、画面上での位置が異なる場合があります。



（表示例）

デスクトップ画面が表示されます。

❑デスクトップ画面からスタート画面に切り替える

1 パソコン本体のWindowsボタン（　）を押す

スタート画面が表示されます。

参照 Windowsボタン「本章 2 - 1 前面図」

2 チャームとアプリケーションの切り替えについて

画面の左右には、バーが表示されます。
右側のバーは、「チャーム」と呼ばれるメニューバーです。
左側のバーは、起動しているアプリケーションを切り替えることができます。
両方とも、すべての画面で表示することができます。

1 チャームの操作方法

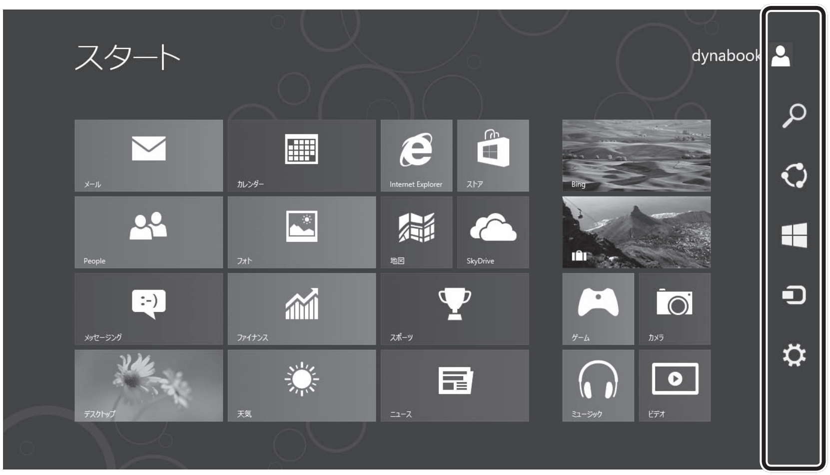
1 画面の右端から左に向かってフリックする



（表示例）

5つのメニューアイコンが表示されます。

2 目的の項目を選択する



（表示例）

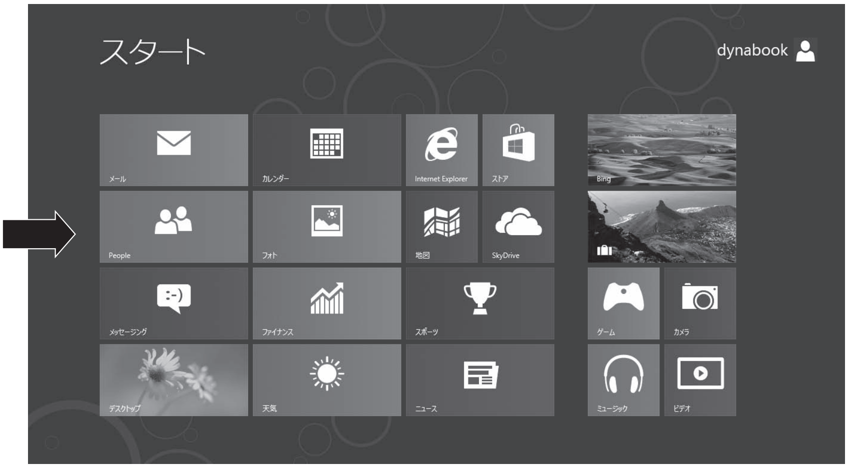
上から［検索］、［共有］、［スタート］、［デバイス］、［設定］です。
内容は、次のとおりです。

- **検索**
  アプリケーションやファイルなどを検索します。
- **共有**
  共有するためのツールが用意されています。
- **スタート**
  画面を切り替えます。
- **デバイス**
  パソコンに接続している周辺機器を表示します。
- **設定**
  設定メニューです。電源を切るためのメニューもここにあります。

2 スタート画面でアプリケーションを切り替える方法

■最後に使用したアプリケーションに切り替える

1 画面の左端から右に向かってフリックする



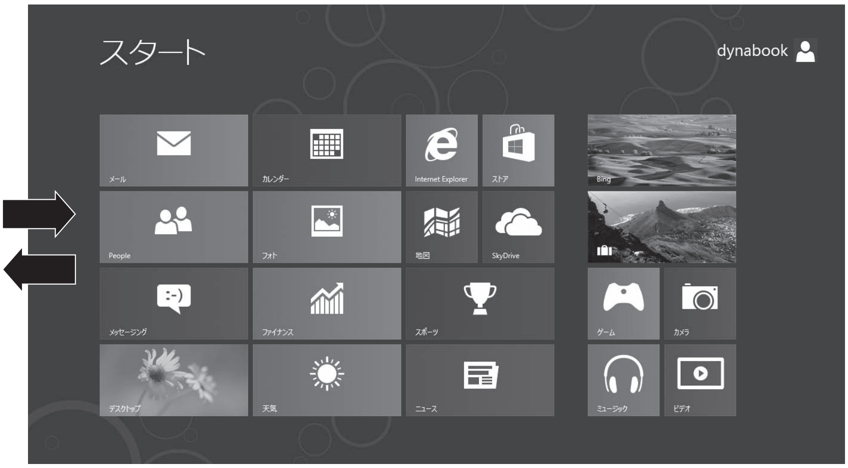
（表示例）

現在起動しているアプリケーションの中から最後に使用したアプリケーションが表示されます。

■起動中のアプリケーションから選択する

1 画面の左端から右に向かってフリックしたまま指（またはペン＊1）を止め、そのまま指をはなさず右から左端に向かってフリックする

＊1 デジタイザーモデルのみ



（表示例）

現在起動しているアプリケーションの一覧が表示されます。

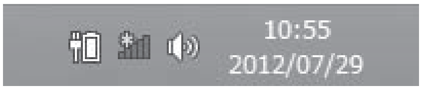
2 使用したいアプリケーションをタッチする



（表示例）

日付と時刻の確認

日付と時刻は、デスクトップ画面右下の［通知領域］に表示されています。
正しく設定されているかどうか確認してください。



（表示例）

正しく設定されていない場合は、『Windows ヘルプとサポート』を確認して設定してください。

Windowsでわからない操作があったとき

- Windows 8の使いかた
  スタート画面の一番下から上側にフリックする→［すべてのアプリ］→［Windows システムツール］の［ヘルプとサポート］をタッチして、『Windows ヘルプとサポート』を参照してください。
- Windows 7の使いかた
  ［スタート］ボタン（ ）→［ヘルプとサポート］をタッチして、『Windowsヘルプとサポート』を参照してください。
- Windowsについて
  Windowsの最新情報は次のホームページから確認できます。
  URL：http://www.microsoft.com/japan/windows/default.mspx

Windowsを最新の状態にする

「Windows Update」で更新プログラムをインストールしてください。

参照 「Windows Update」について『Windowsヘルプとサポート』

ドメインに接続する

企業内など、ある1つにまとまったネットワークをドメインと呼びます。
ここでは、本製品をドメインに接続する設定方法を説明します。
ドメインのユーザー名やパスワードなど、詳しい設定方法がわからない場合はネットワーク管理者にお問い合わせください。
本製品を複数のユーザーで使用している場合はAdministratorと呼ばれる管理者のユーザーに切り替えてから設定を行ってください。

1 次の操作を行う

■Windows 8の場合

①スタート画面の一番下から上側にフリックする
②［すべてのアプリ］をタッチする
③［Windows システム ツール］の［ コントロールパネル］をタッチする

■Windows 7の場合

①［スタート］ボタン（ ）→［コントロールパネル］をタッチする

2 ［ システムとセキュリティ］をタッチする

3 ［ システム］をタッチする

4 ［コンピューター名、ドメインおよびワークグループの設定］の［設定の変更］をタッチする

［システムのプロパティ］画面が表示されます。

5 ［コンピューター名］タブで［変更］ボタンをタッチする

6 ［ドメイン］をチェックしてから接続するドメインの名前を入力し、［OK］ボタンをタッチする

7 ドメインの［ユーザー名］と［パスワード］を入力し、［OK］ボタンをタッチする

8 ［OK］ボタンをタッチする

9 ［OK］ボタンをタッチする

パソコンを再起動してください。

リカバリーメディアの作成

リカバリーメディアを作成しておくことを強くおすすめします。リカバリーメディアとは、システムやアプリケーションをご購入時の状態に復元（リカバリー）するためのものです。

参照 リカバリーメディアについて『オンラインマニュアル』

なお、リカバリーメディアを使って実際にリカバリーを行うときは、操作の流れをよくご確認ください。

参照 リカバリーについて「3章 買ったときの状態に戻すには」

バックアップをとる

作成したファイルを誤って削除してしまったり、突然のパソコンのトラブルによって保存したファイルが使えなくなってしまうことがあります。
このような場合に備えて、あらかじめファイルをDVD-RやUSBフラッシュメモリなどの記録メディアにコピーしておくことをバックアップといいます。
一度なくしたデータを復旧することはできません。
万が一のために、必ず定期的にバックアップをとりましょう。

＊CD／DVD／ブルーレイディスクにバックアップをとる場合、外付けの書き込み可能なCD／DVD／ブルーレイディスクドライブ（市販品）が必要です。
ただし、すべての外付けCD／DVD／ブルーレイディスクドライブでの動作は保証できません。

5 電源を切る／入れる

1 電源を切る

パソコンを使い終わったとき、電源を完全に切る「シャットダウン」を行ってください。間違った操作を行うと、故障したり大切なデータを失ったりするおそれがあります。中断するときは、それまでの作業をメモリに保存して一時的に中断する「スリープ」があります。

参照 スリープについて『オンラインマニュアル』

⚠ 警告

- **電子機器の使用が制限されている場所ではパソコンの電源を切る**
  パソコン本体を航空機や電子機器の使用が制限されている場所（病院など）に持ち込む場合は、無線通信機能を無効に設定した上で、パソコンの電源を切ってください。ほかの機器に影響を与えることがあります。
  - ・無線通信機能は、次の手順でOFFにすることができます。

    ■Windows 8の場合

    ①チャームの［設定］をタッチする

    ②（ ）をタッチし、［ネットワーク］画面で［機内モード］を［オン］に設定する

    ■Windows 7の場合

    「TOSHIBA Flash Cards」の［ワイヤレス］のカードで無効にすることができます。［ワイヤレス］のカードをタッチして、表示されたアイコン群から をタッチしてください。
  - ・スリープや休止状態では、パソコンが自動的に復帰することがあるため、飛行を妨げたり、ほかのシステムに影響を及ぼしたりすることがあります。
  - ・電源を切った状態、または高速スタートモード*[1]で待機中（高速スタートモードで電源を切ったとき）でも、パソコンが自動的に起動するような設定のソフトウェアの場合は、あらかじめ設定を無効（解除）にしてください。
  - ・Intel® Rapid Start Technologyで休止状態になっている場合がありますので、確実に電源を切るため、一度パソコンを起動し、その後電源を切って（シャットダウンして）ください。

＊1 Windows 7のみ

お願い 電源を切る前に

- 必要なデータは必ず保存してください。保存されていないデータは消失します。
- 起動中のアプリケーションは終了してください。
- SSDやメディアへのアクセス中は、電源を切らないでください。データが消失するおそれがあります。

電源を切るには、次のように操作してください。

Windows 8の場合

1 画面の右端から左に向かってフリックする

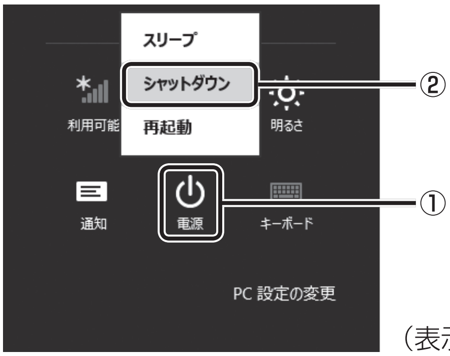
チャームが表示されます。

2 ［設定］をタッチする



画面右側に［設定］画面が表示されます。

3 ［電源］をタッチし①、表示されたメニューから［シャットダウン］をタッチする②



（表示例）

Windowsを終了したあと、パソコンの電源が自動的に切れます。
パソコンの電源が切れると、Power ⏻ LEDが消灯します。

Windows 7の場合

1 ［スタート］ボタンをタッチする



2 ［シャットダウン］をタッチする



Windowsを終了したあと、パソコンの電源が自動的に切れます。
パソコン本体の電源が切れると、Power ⏻ LEDが消灯します。

メモ

- システムが操作できなくなった場合は、電源スイッチを5秒以上押すと、強制的に電源を切る（強制終了）ことができます。
  強制終了は、システムが操作できなくなったとき以外は行わないでください。強制終了を行うと、スリープ／休止状態は無効になります。

お願い　電源を切ったあとは

- パソコン本体に接続している機器（周辺機器）の電源は、パソコン本体の電源を切ったあとに切ってください。
- パソコン本体や周辺機器の電源は、切ったあとすぐに入れないでください。故障の原因となります。
- Windows 8の場合、周辺機器の取り付け／取りはずし、BIOSセットアップの設定などを行うときは、以下の手順で電源を切ってください。
  ① 画面の右端から左に向かってフリックしてチャームを表示する
  ② ［設定］をタッチする
  ③ ［PC設定の変更］をタッチする
  ④ ［全般］→［PCの起動をカスタマイズする］の［今すぐ再起動する］をタッチする
  ⑤ オプションの選択画面で［PCの電源を切る］をタッチする

再起動

Windowsを終了したあと、すぐにもう一度起動することを「再起動」といいます。パソコンの設定を変えたときやパソコンがスムーズに動かなくなってしまったときなどに行います。
再起動するには、次のように操作してください。

■Windows 8の場合

①画面の右端から左に向かってフリックしてチャームを表示する
②［設定］をタッチする
③［電源］をタッチし、表示されたメニューから［再起動］をタッチする

■Windows 7の場合

①［スタート］ボタン（）をタッチし、をタッチする
②表示されたメニューから［再起動］をタッチする
メニューが表示されない場合は、をタッチしてください。

2 電源を入れる

Windowsセットアップを終えたあとは、次の手順で電源を入れます。

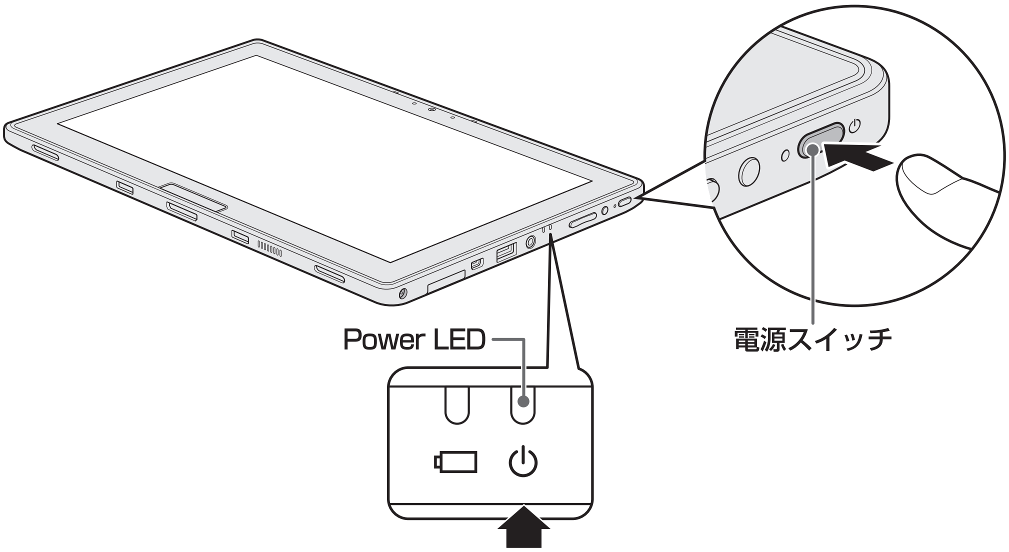
お願い　電源を入れる前に

- 各スロットに記録メディアなどをセットしている場合は取り出してください。
- プリンターなどの周辺機器を接続している場合は、パソコン本体より先に周辺機器の電源を入れてください。

1 電源スイッチを押し、指をはなす

確実に電源スイッチを押してください。

Power ⏻ LEDが白色に点灯することを確認してください。



Windows 8でロック画面（画面左下に大きく日時が表示されている状態）が表示された場合は、画面の下側から上に向かってフリックしてください。
次の画面に進みます。

各種パスワードを設定している場合は、パスワードを入力する画面が表示されます。
パスワードを入力して Enter キーをタッチしてください。

Windows 8で複数のユーザーが1台のパソコンを使用している場合、表示されているユーザーとは違うユーザーでサインインしたいときは、［ユーザーの切り替え］ボタン（ ）をタッチしてください。ユーザーの一覧が表示され、希望のユーザーを選択できます。

Windowsが起動します。

メモ

- 本製品にはスリープから一定時間後に休止状態に変わるIntel® Rapid Start Technologyが搭載されており、購入時の設定では有効になっています。

参照 『オンラインマニュアル』

- Windows 7の場合、電源を入れてからWindowsの起動までを高速に行える、「東芝高速スタート」が用意されています。本機能を使用するには、あらかじめ操作を行う必要があります。

参照 「東芝高速スタート」について『オンラインマニュアル』

- Windows 7の場合、Windowsのログオン画面右に無線LANの接続状態を示すウィンドウが表示されることがあります。

参照 「東芝無線LANインジケーター」について『オンラインマニュアル』

電源に関する表示

電源の状態はシステムインジケーターの点灯状態で確認することができます。
電源に関係あるインジケーターとそれぞれの意味は次のとおりです。

	状態	パソコン本体の状態
Battery LED	白色の点灯	電源コードとACアダプターを接続している（バッテリー充電完了）
	オレンジ色の点灯	電源コードとACアダプターを接続している（バッテリー充電中）
	オレンジ色の点滅	充電が必要
	消灯	電源コードとACアダプターを接続していない
Power LED	白色の点灯	電源ON
	白色の点滅	スリープ中
	消灯	電源OFF、休止状態

＊ 電源に関するトラブルについては、「4章 1 Q&A集」を参照してください。

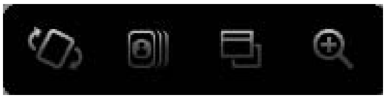
6　本製品を使ってみよう

＊Windows 7のみ

本製品には、さまざまな機能を各アイコンに割り付けた「TOSHIBA Desk Band（トウシバ デスク バンド）」が用意されています。
各アイコンをタッチするだけで、割り付けられている機能が簡単に使用できます。

1　TOSHIBA Desk Band

「TOSHIBA Desk Band」に表示されている各アイコンについて説明します。

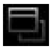

（表示例）

 **ローテーションロック**

ローテーションとは、使用するときの状態に合わせて、画面の向きが自動的に切り替わる機能です。
［ローテーションロック］アイコンをタッチするたびに、画面の自動回転のオン（自動回転する）とオフ（自動回転しない）が切り替わります。

 **Flash Cards**

さまざまな機能を簡単な操作で実行できる、「TOSHIBA Flash Cards」を起動します。
画面の輝度調節や無線通信機能のON／OFF、電源プランの変更などを、画面に表示されたカードから操作できます。「TOSHIBA Flash Cards」の詳しい内容については、『オンラインマニュアル』を参照してください。

 **App Switcher**

起動しているアプリケーションの一覧を表示します。各アプリケーションを切り替えたり、終了させたりすることができます。

 **Zoom**

画面を部分的に拡大表示できます。［Zoom］アイコンをタッチしてから拡大したい箇所をタッチしてください。拡大表示されます。拡大表示している部分以外をタッチすると、Zoom機能は終了します。

メモ　TOSHIBA Desk Bandを再表示するには

- 購入時の状態では「TOSHIBA Desk Band」は有効になっており、常に画面に表示されています。
一度非表示にした「TOSHIBA Desk Band」を再表示する場合は、次の操作を行ってください。
① 通知領域を長押ししてメニューから［ツールバー］をタッチする
② 表示されたメニューから「TOSHIBA Desk Band」をタッチしてチェックを付ける

7 画面で見るマニュアル

Windowsが起動しているときに、『オンラインマニュアル』をパソコン画面上で見ることができます。
『オンラインマニュアル』には、本製品の使用方法についての説明がより多く記載されています。

起動方法

■Windows 8の場合

1 スタート画面の［デスクトップ］をタッチする

デスクトップ画面が表示されます。

2 ［オンラインマニュアル］アイコン（ ）をダブルタッチする

『オンラインマニュアル』が表示されます。

■Windows 7の場合

1 デスクトップ上の［オンラインマニュアル］アイコン（ ）をダブルタッチする

「Adobe Reader」が起動し、『オンラインマニュアル』が表示されます。
初めて「Adobe Reader」を起動したときは、［使用許諾契約書］画面が表示されます。契約内容をお読みのうえ、［同意する］ボタンをタッチしてください。［同意する］ボタンをタッチしないと、「Adobe Reader」をご使用になれません。また、『オンラインマニュアル』を見ることはできません。

メモ

- 『取扱説明書（本書）』の内容も、パソコンの画面上で見ることができます。東芝PC総合情報サイト「dynabook.com（http://dynabook.com/pc/）」からダウンロードしてください。

2章

システム環境の変更

本製品を使用するときの、システム上のさまざまな環境を設定する方法について説明しています。

1 システム環境の変更とは

本製品は、次のようなパソコンのシステム環境を変更できます。
システム環境を変更するには、Windows上のユーティリティで変更するか、またはBIOSセットアップで変更するか、2つの方法があります。
通常は、Windows上のユーティリティで変更することを推奨します。
各項目の詳細は、『オンラインマニュアル』を参照してください。

変更できる項目		Windows上のユーティリティ
ハードウェア環境（パソコン本体）の設定		Windows 8の場合： 「東芝システムセッティング」 Windows 7の場合： 「東芝HWセットアップ」
パスワードセキュリティの設定	ユーザーパスワード	「東芝パスワードユーティリティ」
	スーパーバイザーパスワード	「東芝パスワードユーティリティ」
省電力の設定		「電源オプション」

BIOSセットアップについては「本章 2 BIOSセットアップを使う」をご覧ください。

2 BIOSセットアップを使う

BIOS（バイオス）セットアップとは、パソコンのシステム構成をパソコン本体から設定するプログラムのことです。
次のような設定ができます。

- ハードウェア環境（パソコン本体、周辺機器接続ポート）の設定
- セキュリティの設定
- 起動方法の設定

メモ BIOSセットアップを使用する前の注意

- 通常、システム構成の変更はWindows上の「東芝システムセッティング」、「東芝パスワードユーティリティ」、「電源オプション」、「デバイスマネージャー」などで行ってください。

参照 「東芝システムセッティング」「東芝パスワードユーティリティ」「電源オプション」について『オンラインマニュアル』

参照 「デバイスマネージャー」について『Windows ヘルプとサポート』

- 使用しているシステムによっては、システム構成を変更しても、変更が反映されない場合があります。
- BIOSセットアップで設定した内容は、電源を切っても消えません。しかし、時計用バッテリーが消耗した場合は標準設定値に戻ります。

1 起動と終了／BIOSセットアップの操作

1 起動

1 データを保存し、次の方法で電源を切る

①画面の右端から左に向かってフリックしてチャームを表示する
②［設定］をタッチする
③［PC設定の変更］をタッチする
④［全般］→［PCの起動をカスタマイズする］の［今すぐ再起動する］をタッチする
⑤［オプションの選択］画面で［PCの電源を切る］をタッチする

2 音量小（－）ボタンまたは外付けUSBキーボード（市販品）の F2 キー*1を押しながら、電源スイッチを押す

＊1 BIOSセットアップの一部の項目を設定するには外付けUSBキーボードが必要です。
外付けUSBキーボードを使用する場合、事前に接続しておいてください。

各種パスワードを設定している場合は、パスワードの入力をうながすメッセージが表示されます。パスワードを入力して *Enter* キーをタッチまたは押してください。

参照 パスワードについて『オンラインマニュアル』

BIOSセットアップが起動します。
起動できなかった場合は、手順 1 の終了操作を行ってパソコン本体の電源を切り、手順 2 をやり直してください。

2 終了

1 [Exit] メニューをタッチする

2 終了方法を選択する

3 画面の指示に従ってBIOSセットアップを終了する

途中で終了する方法

設定内容がよくわからなくなったり、途中で設定を中止する場合に行います。この場合は変更した内容は、一部の設定を除き無効になります。
設定値は変更前の状態のままです。
各種パスワード、TPM、[Main] メニューの [System Time] と [System Date] の各設定については、変更前の状態に戻りません。

1 画面右列の *Close* キーをタッチする

画面にメッセージが表示されます。

2 *Yes* キーをタッチする

BIOSセットアップが終了します。

3 基本操作

基本操作は次のとおりです。

操作	画面右列のメニュー
設定内容を標準値にする	[Setup Defaults] メッセージが表示されます。 *Yes* キーをタッチしてください。 各種パスワードなど一部の設定については、標準値に戻りません。
設定を保存し、BIOSセットアップを終了する	[Save and Exit] メッセージが表示されます。 *Yes* キーをタッチしてください。 BIOSセットアップ終了後、Windowsが起動します。 保存しない場合は *No* キーをタッチしてください。
設定を保存しないで、BIOSセットアップを終了する	[Close] メッセージが表示されます。 *Yes* キーをタッチしてください。 サブメニュー表示中は1つ前の画面に戻ります。 各種パスワード、TPM、[Main] メニューの [System Time] と [System Date] の各設定については、変更前の状態に戻りません。

役立つ操作集

スーパーバイザーパスワードについて

スーパーバイザーパスワードを設定すると、起動するドライブの変更の禁止や、BIOSセットアップの設定を変更できないようにするなど、パソコン本体の設定について制限をかけられます。

参照 『オンラインマニュアル』

制限をかけた設定を変更したい場合は、「東芝パスワードユーティリティ」でスーパーバイザーパスワードの解除、または設定の変更を行ってください。

3 パソコンの動作状況を監視し、記録する －東芝PCヘルスモニター

「東芝PCヘルスモニタ」は、消費電力や冷却システムなどを監視し、システムの状態をメッセージなどでお知らせします。また、パソコン本体および各種デバイスの使用状況を、収集管理します。

「東芝PCヘルスモニタ」の機能は、ヘルプで確認できます。

お願い

- 「東芝PCヘルスモニタ」は、いかなる場合も東芝の標準的な保証の範囲を広げるものでも変更するものでもありません。東芝の標準的な保証が適用されます。

メモ

- 収集管理されるパソコン本体や各種デバイスの情報、および使用状況の情報は、パソコン本体のSSDに保存されます。これらの情報には以下の内容が含まれます。

PCの基本情報	モデル名、型番、製造番号、BIOSバージョンなど
各種デバイスの基本情報	ディスプレイ、サウンド、ネットワーク、SSDなど
オペレーティングシステム情報	OSバージョン、OSをインストールした日時、Direct Xのバージョン、Internet Explorerのバージョン、修正プログラムのリストなど
各種デバイスの操作時間／回数	電源スイッチ、キーコンビネーション、ACアダプター、バッテリーパック、ディスプレイ、ファン、SSD、USBなど
パソコンの使用開始日付	－
パソコン本体や各種デバイスの使用状況	省電力設定、バッテリーパックの温度や放充電容量、CPU、メモリ、バックライト*1 の点灯時間、各種デバイスの温度など

＊1 搭載モデルでのみ情報が保存されます。

SSDに保存されるデータの量は1年間で10MB以下であり、SSDの全体容量のわずかしか使用しません。

- これらの情報は、システム状態の監視と通知、および、パソコンが東芝PCあんしんサポートに持ち込まれたときの不具合の診断に使用します。また、東芝はそれらの情報を品質保証適用の判断に使用することもあります。
- 「東芝PCヘルスモニタ」は、一度有効にした場合でも、「コントロールパネル」の［プログラムのアンインストール］からアンインストールすることで、本機能を動作しないようにすることができます。その際、SSDに記録されている「東芝PCヘルスモニタ」が採取したデータは自動的に削除されます。

1 東芝PCヘルスモニタを起動する

ここでは、「東芝PCヘルスモニタ」の起動方法について説明します。

Windows 8の場合

1 スタート画面の一番下から上側にフリックする

2 ［すべてのアプリ］をタッチする

3 ［TOSHIBA］の［ PCヘルスモニタ］をタッチする

［東芝PCヘルスモニタ］画面が表示されます。
初めて起動したときは、［東芝PCヘルスモニタを有効にするには、ここをクリックしてください。］をタッチしてください。

Windows 7の場合

1 ［スタート］ボタン（ ）→［すべてのプログラム］→［TOSHIBA］→［サポート＆リカバリー］→［PCヘルスモニタ］をタッチする

［東芝PCヘルスモニタ］画面が表示されます。
初めて起動したときは、メッセージが表示されますので、［次へ］ボタンをタッチしてください。

［東芝PCヘルスモニタについての注意事項およびデータの収集と利用の許諾］が表示されます。
画面に表示された内容を確認し、注意と許諾の内容に同意のうえ、［同意する］を選択し、［OK］ボタンをタッチしてください。
「東芝PCヘルスモニタ」が有効になり、パソコンの機能の監視と使用状況の情報収集管理を開始します。システムの状態は表示される画面で確認できます。

不調の原因となりうる変化が検出された場合、メッセージが表示されます。メッセージの内容に従って操作してください。
また、冷却メッセージが表示された場合には、次の説明を確認してください。

参照 「本節 2 冷却メッセージが表示された場合」

メモ

- 「東芝PCヘルスモニタ」の利用の許諾に同意し、一度プログラムを有効にすると、「東芝PCヘルスモニタ」の画面を閉じても、パソコンの機能の監視と使用状況の情報収集管理は続行されます。この場合、不調の原因となりうる変化が検出されたときは、通知領域の［東芝PCヘルスモニタ］アイコン（ ）からメッセージが表示されます。

「東芝PCヘルスモニタ」の詳細は、ヘルプを参照してください。

ヘルプの起動方法

1 通知領域の［東芝PCヘルスモニタ］アイコン（ ）を長押しし、表示されたメニューから［ヘルプ］をタッチする

＊通知領域にアイコンが表示されていない場合は、 をタッチしてください。

2 冷却メッセージが表示された場合

不調の原因となりうる変化が検出された場合、冷却メッセージが表示されることがあります。
メッセージの内容に従って操作してください。
次のメッセージが表示された場合は、「東芝冷却診断」を実行してください。

「PCの冷却性能が低下している可能性があります。冷却診断を実行してください。」

「東芝冷却診断」を実行する

1 メッセージ画面で［OK］ボタンをタッチする

「東芝冷却診断」が起動します。

2 電源コードとACアダプターを接続していない場合は接続し、実行中のすべてのアプリケーションを終了する

3 画面の指示に従って操作する

診断の結果、次のメッセージが表示された場合は、東芝PCあんしんサポートへお問い合わせください。

「PCの冷却性能が低下している可能性があります。安心してお使いいただくために、東芝PCあんしんサポートへお問い合わせください。」

メモ

- 「東芝冷却診断」は、［東芝PCヘルスモニタ］画面左側の［冷却診断］をタッチして起動することもできます。

一時的に使用される場合は、省電力の設定を変更することをおすすめします。

省電力の設定を変更する

1 コントロールパネルを起動する

■Windows 8の場合

①スタート画面の一番下から上側にフリックする
②［すべてのアプリ］をタッチする
③［Windowsシステムツール］の［ コントロールパネル］をタッチする

■Windows 7の場合

①［スタート］ボタン（ ）→［コントロールパネル］をタッチする

2 ［ システムとセキュリティ］→［ 電源オプション］をタッチし、選択している電源プランの［プラン設定の変更］をタッチする

3 ［詳細な電源設定の変更］をタッチする

［詳細設定］画面が表示されます。

4 ［東芝省電力設定］をダブルタッチし、表示される項目の［熱制御の設定］をダブルタッチする

5 ［バッテリ駆動］と［電源に接続］で、それぞれ［CPU速度低下を優先］を選択する

6 ［OK］をタッチする

東芝冷却性能診断ツールは、いかなる場合も東芝の標準的な保証の範囲を広げるものでも変更するものでもありません。東芝の標準的な保証が適用されます。

3章

買ったときの状態に戻すには
－リカバリー－

この章では、パソコンの動作がおかしくなり、いろいろなトラブル解消方法では解決できないときに行う「リカバリー」について説明しています。リカバリーを行うことでシステムやアプリケーションを購入時の状態に復元できます。作成したデータなどが消去されますので、よく読んでから行ってください。

1 パソコンを初期状態に戻すために
－リカバリーとは－

パソコンを初期状態に戻す（リカバリー）とは、お客様が作成したデータや、購入後にインストールしたアプリケーション、現在の設定などをすべて削除し、もう一度ご購入時の状態に復元することです。SSD内に保存されているデータ（文書ファイル、画像・映像ファイル、メールやアプリケーションなど）はすべて消去され、設定した内容（インターネットやメールの設定、Windowsパスワードなど）も購入時の状態に戻る、つまり何も設定していない状態になります。

次のような場合で、どうしても改善する方法がないときにリカバリーをしてください。

- パソコンの動作が非常に遅くなった
- 周辺機器が使えなくなった
- SSDにあるシステムファイルを削除してしまった
- コンピューターウイルスやスパイウェアなどに感染し、駆除できない*1
- パソコンの調子がおかしく、いろいろ試したが解消できない
- 東芝PC あんしんサポートに相談した結果、「リカバリーが必要」と診断された

＊1 ウイルスチェックソフトが正常に起動できない場合など、状態によってはウイルスチェックができない場合があります。

一度リカバリーを始めると、途中で中止したり、パソコンの電源を切ることができません。
リカバリーには時間がかかりますので、時間の余裕をもって行ってください。

■Windows 7の場合

ハードディスクドライブからのリカバリーには、約2～2.5時間かかります。リカバリーメディアからのリカバリーは、さらに1時間程度長くかかります。

お願い

- 市販のソフトウェアを使用してパーティションの構成を変更すると、リカバリーができなくなることがあります。

メモ

- リカバリーは、ユーザー権限にかかわらず、誰でも実行できます。誤ってほかの人にリカバリーを実行されないよう、ユーザーパスワードを設定しておくことをおすすめします。

参照 ユーザーパスワード『オンラインマニュアル』

- 購入時にプレインストールされていたアプリケーションやドライバーを誤って削除してしまった場合は、「アプリケーションの再インストール」から再インストールを行うことをおすすめします。

参照 「本章 5 プレインストールのアプリケーションを再インストールする」

それでも解消できない場合にリカバリーを行ってください。

1 パソコンを初期状態に戻す前に確認すること

パソコンの動作がおかしいと感じたとき、次の方法を実行してみてください。リカバリーをしなくても、状態が改善される場合があります。次の方法をすべて試してみても状態が改善されない場合に、リカバリーを実行してください。

ウイルスチェックソフトで、ウイルス感染のチェックを実行する

ウイルスチェックソフトを使って、ウイルスに感染していないかどうかを確認してください。ウイルスが検出されたら、ウイルスチェックソフトで駆除できます。その際、ウイルス定義ファイル（パターンファイル）は、最新のものに更新しておいてください。
場合によっては、ウイルスチェックソフトで駆除できないウイルスもあります。そのときは、リカバリーを実行してください。

セーフ モードで起動できるか実行してみる

＊Windows 7のみ

Windowsが起動できないときは、セーフ モードで起動してみてください。セーフ モードでは、最低限の機能でWindowsを起動させることができます。
セーフ モードで起動できた場合は、リカバリーをする前に、東芝PCあんしんサポートにご相談ください。

参照 セーフ モード「付録 3 セーフ モードで起動する」

周辺機器をすべて取りはずし、再度確認する

USB対応機器など、購入後に追加で増設した機器が障害の原因となっている場合があります。それらを取りはずしてから、再起動して、動作を確認してみてください。また、電源関連のトラブルの場合は、パソコンの電源を切り、電源コードとACアダプターをいったん取りはずし、再度取り付けてから起動し直してみてください。

参照 機器の取りはずし『オンラインマニュアル』

ほかのトラブル解消方法を探す

パソコンの調子がおかしいと思ったときは、「4章 1 Q&A集」や、『オンラインマニュアル』の「パソコンの動作がおかしいときは」を確認してください。いろいろな解消方法を紹介しています。
また、「4章 2 問題を解決して起動できるようにする」で、Windowsが正常に起動しなくなった場合に使用する「詳細オプション」（Windows 8の場合）／「システム回復オプション」（Windows 7の場合）の説明をしています。
それでも解消できないときに、リカバリーをしてください。

「システムの復元」で以前の状態に復元する

「システムの復元」は、パソコンに問題が発生したときに、個人用のデータを失わずにパソコンを以前の状態に復元するための機能です。
詳しくは、『Windows ヘルプとサポート』を参照してください。

2 パソコンを初期状態に戻す前にしておくこと

リカバリーをはじめる前に、次の準備と確認を行ってください。

準備するもの

- 『取扱説明書』（本書）
- 巻末のリカバリーチェックシートをコピーしたもの
- リカバリーメディア（あらかじめ作成してあるリカバリーメディアからリカバリーする場合）
- 外付けのDVD／ブルーレイディスクドライブ（市販品）（DVDのリカバリーメディアからリカバリーする場合）

  ＊ すべての外付けDVD／ブルーレイディスクドライブでの動作は保証できません。

必要なデータのバックアップをとる

リカバリーをすると、購入後に作成したデータやインストールしたアプリケーションなど、SSDに保存していた内容は削除されて、設定が初期化されます。次のようなデータは削除されますので、可能な場合は、記録メディア（CD／DVDやUSBフラッシュメモリなど）にバックアップをとってください。

＊ 本製品でCD／DVD／ブルーレイディスクにバックアップをとる場合、外付けの書き込み可能なCD／DVD／ブルーレイディスクドライブ（市販品）が必要です。
ただし、すべての外付けCD／DVD／ブルーレイディスクドライブでの動作は保証できません。

- ［ドキュメント］（または［マイ ドキュメント］）、［ピクチャー］（または［マイ ピクチャー］）などのデータ
- 購入後にデスクトップに保存したデータ
- 「Internet Explorer」の［お気に入り］のデータ
- メール送受信データ
- メールアドレス帳
- プレインストールされているアプリケーションのデータやファイル
- 購入後にインストールしたアプリケーションのデータ
- 購入後に作成したフォルダーとファイル

また、リカバリー後も現在と同じ設定でパソコンを使いたい場合は、現在の設定を控えておいてください。

ただし、SSDをフォーマットしたり、システムファイルを削除した場合は、バックアップをとることができません。また、リカバリーを行っても、SSDに保存されていたデータは復元できません。

アプリケーションのセットアップ用記録メディアを確認する

購入後に追加でインストールしたアプリケーション、プリンターなどの周辺機器のドライバーは、リカバリー後に再度インストールする必要があります。これらをインストールするための記録メディア（CDなど）が、お手元にあることを確認してください。
また、アプリケーションによっては、ID番号などが必要です。あらかじめ確認してください。

各種設定を確認する

インターネットやLANの設定、Windowsサインイン時のアカウント名などの設定項目を控えておいてください。ウイルスチェックソフトなど、セットアップ時に認証キーの入力が必要なアプリケーションは、認証キーの番号を控えておいてください。設定項目や認証キーの番号などの確認方法は、各アプリケーションのヘルプを参照するか、サポート窓口にお問い合わせください。

音量を調節する

＊Windows 7のみ

リカバリー後、Windowsセットアップが終了するまで音量の調節はできません。
あらかじめ、音量ボタンで音量を調節してください。

無線通信機能がONであるか確認する

無線通信機能がONであることを確認してください。
無線通信機能は、次の手順でONにすることができます。

■Windows 8の場合

①画面の右端から左に向かってフリックし、チャームを表示する
②［設定］をタッチする
③［PC設定の変更］をタッチする
④［ワイヤレス］をタッチする
⑤［機内モード］を［オフ］に設定する

■Windows 7の場合

①「TOSHIBA Flash Cards」で［ワイヤレス］のカードの アイコンをタッチしてONに切り替える

周辺機器を取りはずす

プリンター、マウスなどの周辺機器は取りはずしてください。このとき、パソコン本体の電源を切ってから行ってください。

参照 機器の取りはずし『オンラインマニュアル』

2 パソコンを初期状態に戻す
－Windows 8のリカバリー－

本製品をWindows 8にリカバリーする方法について説明します。
リカバリーは、ユーザー権限にかかわらず、誰でも実行できます。

1 いくつかある初期状態に戻す方法

リカバリーには、次の方法があります。

- SSDからリカバリーをする
- リカバリーメディアからリカバリーをする

通常はSSDからリカバリーをしてください。
リカバリーメディアからのリカバリーは、SSDのリカバリーツール（システムを復元するためのもの）を消してしまったり、SSDからリカバリーができなかった場合などに行うことをおすすめします。
リカバリーメディアは、あらかじめ作成しておく必要があります。

参照 リカバリーメディアの作成『オンラインマニュアル』

2 SSDからパソコンを初期状態に戻す

メモ

- 記録メディアをセットしていない状態で実行してください。セットされていると、エラーになる場合があります。
- ［キャンセル］ボタンが無い画面で操作を中断したい場合は、［オプションの選択］画面が表示されるまで ⓔ ボタンをタッチし、［PCの電源を切る］ボタンをタッチしてください。
  ⓔ ボタンが表示されていない場合は、［キャンセル］ボタンが表示されるまで操作を進めてから［キャンセル］ボタンをタッチしてください。

1 データを保存し、次の方法で電源を切る

①画面の右端から左に向かってフリックしてチャームを表示する
②［設定］をタッチする
③［PC設定の変更］をタッチする
④［全般］→［PCの起動をカスタマイズする］の［今すぐ再起動する］をタッチする
⑤オプションの選択画面で［PCの電源を切る］をタッチする

2 電源コードとACアダプターを接続する

3 音量大（＋）ボタンを押しながら、電源スイッチを押す

各種パスワードを設定している場合は、パスワードの入力をうながすメッセージが表示されます。パスワードを入力して *Enter* キーをタッチしてください。
［BootMenu］画面が表示されます。

4 [HDD Recovery] をタッチする

メッセージが表示されますので、y をタッチしてください。
[キーボード レイアウトの選択] 画面が表示された場合は、手順 5 に進んでください。
[オプションの選択] 画面が表示された場合は、手順 6 に進んでください。

5 [Microsoft IME] をタッチする

[オプションの選択] 画面が表示されます。

6 [トラブルシューティング] をタッチする

[トラブルシューティング] 画面が表示されます。

7 [PCを初期状態に戻す] をタッチする

「この操作を行うと：」と表示されます。

8 [次へ] ボタンをタッチする

「目的のオペレーティングシステムを選んでください。」と表示された場合は、手順 9 に進んでください。
「ファイルの削除だけでなく、ドライブを完全にクリーンアップしますか？」と表示された場合は、手順 10 に進んでください。

9 [Windows 8] をタッチする

「ファイルの削除だけでなく、ドライブを完全にクリーンアップしますか？」と表示されます。

10 [ファイルの削除のみ行う] をタッチする

「すべて準備できました」と表示されます。

メモ

- [ドライブを完全にクリーンアップする] を選択してもリカバリーは行えますが、5時間程度かかる場合があります。また、ドライブ内のデータはすべて消去されます。このため、通常は [ファイルの削除のみ行う] を選択することをおすすめします。

11 [初期状態に戻す] ボタンをタッチする

画面下部に「PCを初期状態に戻しています」と表示され、進行状況がパーセントで表示されます。この間、何も操作する必要はありません。そのまましばらくお待ちください。
また、この間は絶対に電源を切らないでください。

以降は画面に従って操作してください。

12 Windowsのセットアップを行う

参照 詳細について「1章 3 - 1 - 3 Windowsのセットアップ」

3 リカバリーメディアからパソコンを初期状態に戻す

リカバリーメディアは、あらかじめ作成しておく必要があります。

参照 リカバリーメディアの作成『オンラインマニュアル』

DVDのリカバリーメディアでリカバリーをする場合は、あらかじめ外付けのDVD／ブルーレイディスクドライブ（市販品）を接続してください。

＊すべての外付けDVD／ブルーレイディスクドライブでの動作は保証できません。

参照 接続方法『DVD／ブルーレイディスクドライブに付属の説明書』

お願い リカバリーメディアからパソコンを初期状態に戻すと

- パーティション情報はすべて購入時の状態に戻ります。このため、購入後に作成したドライブもすべて消去されます。

メモ

- 操作の途中で［キャンセル］ボタンをタッチすると、以降リカバリーメニューが表示されなくなります。

1 電源コードとACアダプターを接続する

2 リカバリーメディアをセットする

リカバリーメディアが複数枚ある場合は、「ディスク1」からセットしてください。
USBフラッシュメモリの場合はUSBコネクタに差し込んでください。

3 データを保存し、次の方法で電源を切る

①画面の右端から左に向かってフリックしてチャームを表示する
②［設定］をタッチする
③［PC設定の変更］をタッチする
④［全般］→［PCの起動をカスタマイズする］の［今すぐ再起動する］をタッチする
⑤オプションの選択画面で［PCの電源を切る］をタッチする

4 音量大（＋）ボタンを押しながら、電源スイッチを押す

各種パスワードを設定している場合は、パスワードの入力をうながすメッセージが表示されます。パスワードを入力して *Enter* キーをタッチしてください。
［BootMenu］画面が表示されます。

5 起動したいドライブをタッチする

リカバリーメディアがDVDの場合は外付けのDVD／ブルーレイディスクドライブを示す項目（［USB ODD］など）、リカバリーメディアがUSBフラッシュメモリの場合はUSBフラッシュメモリを示す項目（［USB Memory］など）を選択してください。

「TOSHIBA Recovery Wizard」か「システム回復オプション」かを選択する画面が表示されます。

6 ［TOSHIBA Recovery Wizard］をチェックし、［次へ］ボタンをタッチする

警告メッセージ画面が表示されます。

7 画面の内容を確認し、［はい］ボタンをタッチする

［復元方法の選択］画面が表示されます。

8 ［初期インストールソフトウェアの復元］をチェックし、［次へ］ボタンをタッチする

［ハードディスク上の全データの消去］は、パソコンを廃棄または譲渡する場合など、個人情報漏えいを防ぐために、SSDのデータを完全に消去するためのものです。通常は実行しないでください。実行すると、SSD上にある、すべてのデータが削除されます。

参照 「4章 3 - 2 SSDの内容をすべて消去する」

「ハードディスクの内容は、すべて消去されます。」というメッセージが表示されます。
処理を中止する場合は、［キャンセル］ボタンをタッチしてください。

9 ［次へ］ボタンをタッチする

［次へ］ボタンをタッチすると、復元が実行され、［パーティションを初期化しています。しばらくお待ちください。］画面が表示されます。

長い時間表示される場合がありますが、画面が切り替わるまでお待ちください。
復元中は、リカバリーの経過に従い、画面が変わります。

＊最初に［コピーしています。］画面が表示される場合があります。長い時間表示される場合がありますが、画面が切り替わるまでお待ちください。

リカバリーメディアが複数枚ある場合は、メディアを入れ替えるメッセージが表示され、リカバリーメディアを取り出せる状態になります。メディアの番号順に入れ替え、［OK］ボタンをタッチしてください。

復元が完了すると、終了画面が表示されます。

10 リカバリーメディアの種類により次の操作を行う

■DVDの場合

①［終了］ボタンをタッチする
　自動的にリカバリーメディアを取り出せる状態になります。
②リカバリーメディアを取り出す

■USBフラッシュメモリの場合

①USBフラッシュメモリを取りはずす
②［終了］ボタンをタッチする

［しばらくお待ちください。］画面が表示されます。
ここから次の手順の［ライセンス条項］画面が表示されるまで、何も操作する必要はありません。そのまましばらくお待ちください。
また、この間は絶対に電源を切らないでください。

11 Windowsのセットアップを行う

参照 詳細について「1章 3 - 1 - 3 Windowsのセットアップ」

3 パソコンを初期状態に戻す
－Windows 7のリカバリー－

本製品をWindows 7にリカバリーする方法について説明します。
リカバリーは、ユーザー権限にかかわらず、誰でも実行できます。

1 いくつかある初期状態に戻す方法

リカバリーには、次の方法があります。

- SSDからリカバリーをする
- 作成したリカバリーメディアからリカバリーをする

通常はSSDからリカバリーをしてください。
作成したリカバリーメディアからのリカバリーは、SSDのリカバリーツール（システムを復元するためのもの）を消してしまったり、SSDからリカバリーができなかった場合などに行うことをおすすめします。
リカバリーメディアは、あらかじめ作成しておく必要があります。

参照 『オンラインマニュアル』

リカバリーメニューについて

次のメニューのなかからリカバリー方法を選択することができます。あらかじめリカバリー方法を決めておくとスムーズに操作できます。

■ご購入時の状態に復元

SSDをパソコンを購入したときの状態に戻し、購入時の状態に復元します。購入後に作成したデータや設定などはすべて消去されます。

■パーティションサイズを変更せずに復元

現状のパーティションの構造を保ったままシステムを復元します。ドライブ（C:）に保存されていたデータは消去され、購入時の状態に戻ります。リカバリーメディアからリカバリーし、リカバリーツールの領域を消去してSSDの領域を分割している場合は、その他のドライブに保存されていたデータは、そのまま残ります。ただし、BIOS情報やコンピューターウイルスなどの影響でデータが壊れている場合、ドライブ（C:）以外の領域にあるデータが使えないことがあります。

■パーティションサイズを指定して復元

ドライブ（C:）のサイズを指定して復元します。ドライブ（C:）以外のSSDのパーティションは消去されます。購入後に作成したデータや設定などはすべて消去されます。

メモ

- どのメニューを選択しても、ドライブ（C:）には購入時と同じシステムが復元されます。

2 SSDからパソコンを初期状態に戻す

メモ

- ドライブにメディアをセットしていない状態で実行してください。ドライブにメディアがセットされていると、エラーになる場合があります。

ここでは、「パーティションサイズを変更せずに復元」する方法を例にして説明します。

1 データを保存し、Windowsを終了させて電源を切る

参照 電源の切りかた「1章 5 - 1 電源を切る」

2 電源コードとACアダプターを接続する

3 音量大（＋）ボタンを押しながら、電源スイッチを押す

各種パスワードを設定している場合は、パスワードの入力をうながすメッセージが表示されます。パスワードを入力して Enter キーをタッチしてください。
［BootMenu］画面が表示されます。

4 ［HDD Recovery］をタッチする

警告メッセージ画面が表示されます。

■OSのタイプを選択する画面が表示された場合

どちらのOSタイプに復元するかをチェックし、［次へ］ボタンをタッチしてください。

5 画面の内容を確認し、［はい］ボタンをタッチする

［復元方法の選択］画面が表示されます。

6 ［初期インストールソフトウェアの復元］をチェックし、［次へ］ボタンをタッチする

［ハードディスク上の全データの消去］は、パソコンを廃棄または譲渡する場合など、個人情報漏えいを防ぐために、SSDのデータを完全に消去するためのものです。通常は実行しないでください。実行すると、SSD上にある、リカバリーツールの領域以外のすべてのデータが削除されます。

参照 「4章 3 - 2 SSDの内容をすべて消去する」

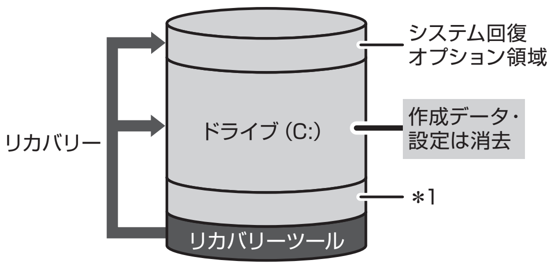
7 ［パーティションサイズを変更せずに復元］をチェックし、［次へ］ボタンをタッチする

ほかのメニューを選択する場合については、次を参照してください。

- ［ご購入時の状態に復元］ ：P.74
- ［パーティションサイズを指定して復元］：P.74

■［パーティションサイズを変更せずに復元］の意味と動作

ドライブ（C:）がリカバリーされます。



ドライブ（C:）にあたる領域は、作成したデータ、設定した項目、インストールしたアプリケーションなどがすべて消去され、ご購入時のシステムやアプリケーションが復元された状態になります。

＊1 Intel® Rapid Start Technologyで使用している領域

「先頭パーティションのデータは、すべて消去されます。」というメッセージが表示されます。

メモ

- リカバリーツールとシステム回復オプションの領域などが確保されているため、SSDの100%を使用することはできません。

8 ［次へ］ボタンをタッチする

処理を中止する場合は、［キャンセル］ボタンをタッチしてください。
［次へ］ボタンをタッチすると復元が実行され、［パーティションを初期化しています。しばらくお待ちください。］画面が表示されます。
長い時間表示される場合がありますが、画面が切り替わるまでお待ちください。
リカバリーの経過に従い、画面が変わります。
復元が完了すると、終了画面が表示されます。

9 ［終了］ボタンをタッチする

システムが再起動し、［しばらくお待ちください。］画面が表示されます。
ここから次の手順の［Windowsのセットアップ］画面が表示されるまで、約1～1.5時間かかります。この間、メッセージが表示されたり、システムが自動的に再起動したりしますが、何も操作する必要はありません。［Windowsのセットアップ］画面が表示されるまで、お待ちください。
また、この間は絶対に電源を切らないでください。

10 Windowsのセットアップを行う

参照 詳細について「1章 3-1 Windowsセットアップ」

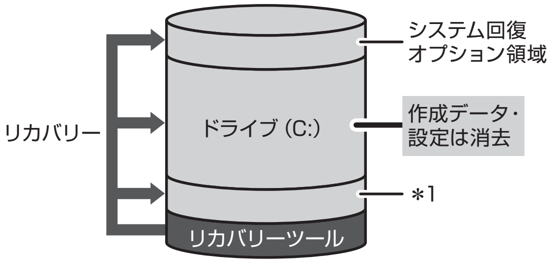
3章 買ったときの状態に戻すには －リカバリー－

その他のリカバリーメニューについて

「本節 2 SSDからパソコンを初期状態に戻す」の手順 7 の［初期インストールソフトウェアの復元］画面の、［パーティションサイズを変更せずに復元］以外のメニューの意味と動作は次のようになります。

■ご購入時の状態に復元

パソコンを購入したときの状態に戻します。
搭載しているメモリによって、Intel® Rapid Start Technologyで使用している領域の大きさが変わります。



作成したデータ、設定した項目、インストールしたアプリケーションなどがすべて消去され、ご購入時のパーティション、システム、アプリケーションが復元された状態になります。

＊1 Intel® Rapid Start Technologyで使用している領域

手順 7 では、［ご購入時の状態に復元］をチェックして［次へ］ボタンをタッチしてください。
「ハードディスクの内容は、すべて消去されます。」というメッセージが表示されます。

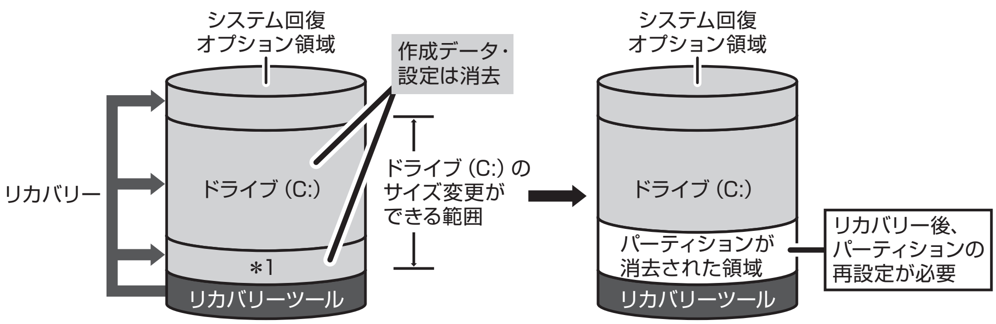
■パーティションサイズを指定して復元

ドライブ（C:）のサイズを変更することができます。
ドライブ（C:）のサイズを、設定できる最大値より小さい値に指定した場合、ドライブ（C:）とシステム回復オプション領域、リカバリーツールの領域以外の領域区分（パーティション）は消去され、1つの領域になります。この領域はそのままではドライブとして認識されず、使用することはできません。リカバリー後、「コントロールパネル」の「ディスクの管理」から再設定を行うと、再びドライブとして使用できるようになります。

参照 ディスクの管理「本章 4 - 1 パーティションを変更してリカバリーをした場合」

Intel® Rapid Start Technologyは、使用できなくなります。

リカバリーを行うと、作成したデータ、設定した項目、インストールしたアプリケーションなどがすべて消去され、ご購入時のシステムやアプリケーションが復元された状態になります。



＊1 Intel® Rapid Start Technologyで使用している領域

手順 7 では次の操作を行ってください。

① [パーティションサイズを指定して復元] をチェックする
② [C：ドライブのサイズ] をタッチしてパーティション（ドライブ（C:））のサイズを指定する
③ [次へ] ボタンをタッチする
「ハードディスクの内容は、すべて消去されます。」というメッセージが表示されます。

3 リカバリーメディアからパソコンを初期状態に戻す

リカバリーメディアは、あらかじめ作成しておく必要があります。

参照 『オンラインマニュアル』

外付けのDVD／ブルーレイディスクドライブ（市販品）を使用して、DVDのリカバリーメディアでリカバリーする場合は、あらかじめ外付けのDVD／ブルーレイディスクドライブ（市販品）を接続してください。

＊ すべての外付けDVD／ブルーレイディスクドライブでの動作は保証できません。

参照 接続方法『DVD／ブルーレイディスクドライブに付属の説明書』

1 電源コードとACアダプターを接続する

2 リカバリーメディアをセットする

リカバリーメディアが複数枚ある場合は、「ディスク1」からセットしてください。
USBフラッシュメモリの場合はUSBコネクタに差し込んでください。

3 データを保存し、Windowsを終了させて電源を切る

参照 電源の切りかた「1章 5 - 1 電源を切る」

4 音量大（＋）ボタンを押しながら、電源スイッチを押す

各種パスワードを設定している場合は、パスワードの入力をうながすメッセージが表示されます。パスワードを入力して Enter キーをタッチしてください。
[BootMenu] 画面が表示されます。

5 起動したいドライブをタッチする

リカバリーメディアがDVDの場合は外付けのDVD／ブルーレイディスクドライブを示す項目（[USB ODD］など)、リカバリーメディアがUSBフラッシュメモリの場合はUSBフラッシュメモリを示す項目（[USB Memory］など）を選択してください。

■「TOSHIBA Recovery Wizard」か「システム回復オプション」かを選択する画面が表示された場合

［TOSHIBA Recovery Wizard］をチェックし、［次へ］ボタンをタッチしてください。
［システム回復オプション］には、パソコンを使用するうえでのさまざまなトラブルやデータ保護に対応したメニューが用意されています。

参照 システム回復オプション「4章 2 - Windows 7の場合」

■OSのタイプを選択する画面が表示された場合

どちらのOSタイプに復元するかをチェックし、［次へ］ボタンをタッチしてください。

警告メッセージ画面が表示されます。

6 画面の内容を確認し、［はい］ボタンをタッチする

［復元方法の選択］画面が表示されます。

7 ［初期インストールソフトウェアの復元］をチェックし、［次へ］ボタンをタッチする

［ハードディスク上の全データの消去］は、パソコンを廃棄または譲渡する場合など、個人情報漏えいを防ぐために、SSDのデータを完全に消去するためのものです。通常は実行しないでください。実行すると、SSD上にある、すべてのデータが削除されます。

参照 「4章 3 - 2 SSDの内容をすべて消去する」

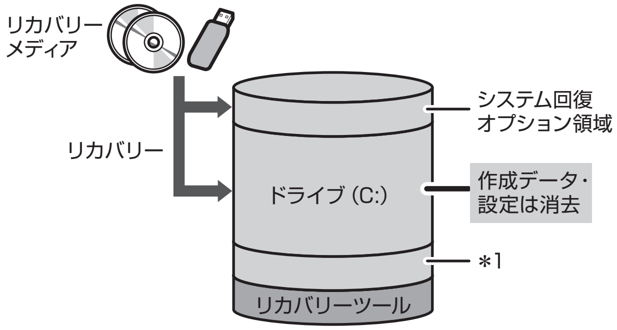
8 ［パーティションサイズを変更せずに復元］をチェックし、［次へ］ボタンをタッチする

ほかのメニューを選択する場合については、次を参照してください。

- ［ご購入時の状態に復元］　　　　　　　：P.78
- ［パーティションサイズを指定して復元］：P.79

■［パーティションサイズを変更せずに復元］の意味と動作

すでにSSDの領域を分割している場合などに使用します。
ドライブ（C:）がリカバリーされ、それ以外の領域のデータはそのまま残ります。
ドライブ（C:）にあたる領域は、作成したデータ、設定した項目、インストールしたアプリケーションなどがすべて消去され、ご購入時のシステムやアプリケーションが復元された状態になります。
ドライブ（C:）がリカバリーされます。



＊1 Intel® Rapid Start Technologyで使用している領域

「先頭パーティションのデータは、すべて消去されます。」というメッセージが表示されます。

メモ

- リカバリーツールとシステム回復オプションの領域などが確保されているため、SSDの100%を使用することができません。

9 ［次へ］ボタンをタッチする

処理を中止する場合は、［キャンセル］ボタンをタッチしてください。
［次へ］ボタンをタッチすると復元が実行され、［パーティションを初期化しています。しばらくお待ちください。］画面が表示されます。
長い時間表示される場合がありますが、画面が切り替わるまでお待ちください。
復元中は、リカバリーの経過に従い、画面が変わります。

＊最初に［コピーしています。］画面が表示される場合があります。
長い時間表示される場合もありますが、画面が切り替わるまでお待ちください。

リカバリーメディアが複数枚ある場合、画面の指示に従って入れ替えてください。
復元が完了すると、終了画面が表示されます。

10 リカバリーメディアの種類により次の操作を行う

■DVDの場合

①［終了］ボタンをタッチする
　自動的にディスクトレイが開きます。
②リカバリーメディアを取り出す

■USBフラッシュメモリの場合

①USBフラッシュメモリを取りはずす
②［終了］ボタンをタッチする

システムが再起動し、［しばらくお待ちください。］画面が表示されます。
ここから次の手順の［Windowsのセットアップ］画面が表示されるまで、約1～1.5時間かかります。この間、メッセージが表示されたり、システムが自動的に再起動したりしますが、何も操作する必要はありません。［Windowsのセットアップ］画面が表示されるまで、お待ちください。
また、この間は絶対に電源を切らないでください。

11 Windowsのセットアップを行う

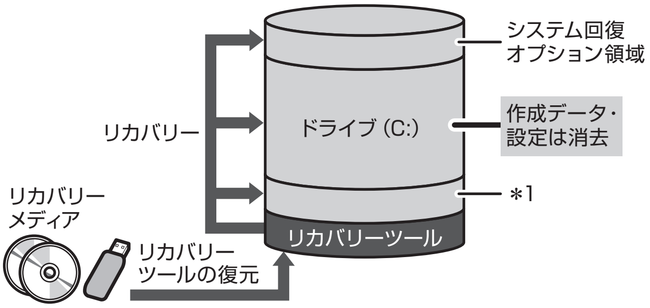
参照 詳細について「1章 3 - 1 - 3 Windowsのセットアップ」

その他のリカバリーメニューについて

「本節 3 リカバリーメディアからパソコンを初期状態に戻す」の手順 8 の初期インストールソフトウェアの復元］画面の、［パーティションサイズを変更せずに復元］以外のメニューの意味と動作は次のようになります。

■ご購入時の状態に復元

パソコンを購入したときの状態に戻します。
搭載しているメモリによって、Intel® Rapid Start Technologyで使用している領域の大きさが変わります。



作成したデータ、設定した項目、インストールしたアプリケーションなどがすべて消去され、ご購入時のパーティション、システム、アプリケーションが復元された状態になります。

＊1 Intel® Rapid Start Technologyで使用している領域

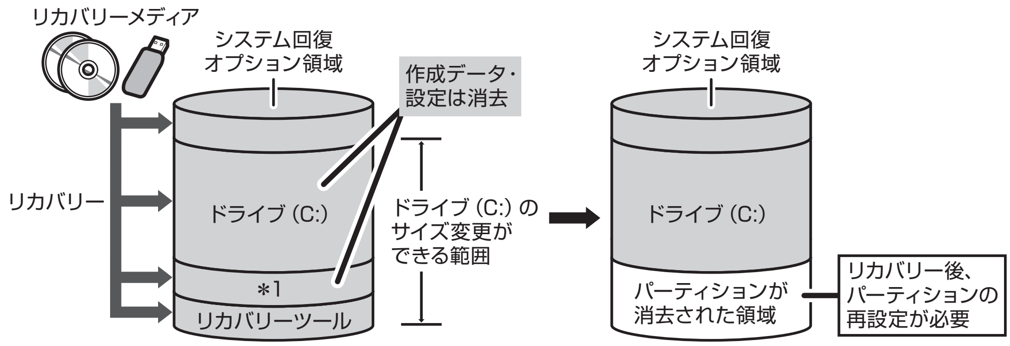
手順 8 では、［ご購入時の状態に復元］をチェックして［次へ］ボタンをタッチしてください。
「ハードディスクの内容は、すべて消去されます。」というメッセージが表示されます。

■パーティションサイズを指定して復元

ドライブ（C:）のサイズを変更することができます。
ドライブ（C:）のサイズを、設定できる最大値より小さい値に指定した場合、ドライブ（C:）とシステム回復オプション領域以外の領域区分（パーティション）は消去され、1つの領域になります。この領域はそのままではドライブとして認識されず、使用することはできません。リカバリー後、「コントロールパネル」の「ディスクの管理」から再設定を行うと、再びドライブとして使用できるようになります。リカバリーツールの領域は消去されるため、作成したリカバリーメディアは大切に保管してください。

参照 ディスクの管理「本章 4 - 1 パーティションを変更してリカバリーをした場合」

Intel® Rapid Start Technologyは、使用できなくなります。
リカバリーを行うと、作成したデータ、設定した項目、インストールしたアプリケーションなどがすべて消去され、ご購入時のシステムやアプリケーションが復元された状態になります。



＊1 Intel® Rapid Start Technologyで使用している領域

手順 8 では次の操作を行ってください。

① [パーティションサイズを指定して復元] をチェックする
② [C：ドライブのサイズ] をタッチしてパーティション（ドライブ（C:））のサイズを指定する
③ [次へ] ボタンをタッチする
「ハードディスクの内容は、すべて消去されます。」というメッセージが表示されます。

4 パソコンを初期状態に戻したあとは

購入後に変更した設定がある場合は、Windowsのセットアップ後に、もう一度設定をやり直してください。また、周辺機器の接続、購入後に追加したアプリケーションのインストールも、Windowsのセットアップ後に行ってください。
その他必要に応じて、インターネットやメールの再設定、ウイルスチェックソフトの設定や更新などが必要です。

メモ

- Office搭載モデルの場合、リカバリー後、「Office」のライセンス認証が必要になります。

  参照 詳細について「はじめに - 12 「Office」のライセンス認証について」

- 一部のアプリケーションは、リカバリー後に再インストールをする必要があります。

  参照 詳細について「本章 5 プレインストールのアプリケーションを再インストールする」

1 パーティションを変更してリカバリーをした場合

＊Windows 7のみ

Windows 7で［パーティションサイズを指定して復元］を選択してリカバリーをした場合にのみ、リカバリー後すみやかに次の設定を行ってください。

お願い パーティションを設定するにあたって

- Windowsの「ディスクの管理」を使用すると、ボリュームがないプライマリパーティションが表示されます。このパーティションにはリカバリーをするためのデータが保存されていますので、削除しないでください。削除した場合、リカバリーはできなくなります。

1 管理者ユーザーアカウントでログオンする

2 ［スタート］ボタン（ ）→［コントロールパネル］をタッチする

3 ［ システムとセキュリティ］→［ 管理ツール］をタッチする

4 ［ コンピューターの管理］をダブルタッチする

5 画面左側の［ ディスクの管理］をタッチする

設定していないパーティションは［未割り当て］と表示されます。

6 ［ディスク0］の［未割り当て］の領域を長押しする

7 表示されるメニューから［新しいシンプル ボリューム］をタッチする

［新しいシンプル ボリューム ウィザード］が起動します。

2 バックアップしておいたデータを復元する

バックアップをとっておいたデータを使いたい場合は、バックアップした記録メディアからデータを読み込んでください。

アプリケーションによってバックアップ方法や復元方法が用意されている場合は、その方法に従って復元してください。

5 プレインストールのアプリケーションを再インストールする

本製品にプレインストールされているアプリケーションは、一度削除してしまっても、必要なアプリケーションやドライバーを指定して再インストールすることができます。

同じアプリケーションがすでにインストールされているときは、コントロールパネルの「プログラムのアンインストール」または各アプリケーションのアンインストールプログラムを実行して、アンインストールを行ってください。
アンインストールを行わずに再インストールを実行すると、正常にインストールできない場合があります。ただし、上記のどちらの方法でもアンインストールが実行できないアプリケーションは、上書きでインストールしても問題ありません。

1 操作手順

1 次の操作を行う

■Windows 8の場合

①スタート画面の一番下から上側にフリックする
②［すべてのアプリ］をタッチする
③［ アプリケーションの再インストール］をタッチする

■Windows 7の場合

①［スタート］ボタン（ ）→［すべてのプログラム］→［アプリケーションの再インストール］をタッチする

2 ［セットアップ画面へ］をタッチする

アプリケーションやドライバーのセットアップメニュー画面が表示されます。アプリケーションやドライバーのセットアップメニューは、カテゴリごとのタブに分かれています。
タブをタッチして再インストールしたいアプリケーションを探してください。
画面左側にはアプリケーションの一覧が表示されています。
画面右側にはアプリケーションの説明が書かれていますので、よくお読みください。

3 画面左側のアプリケーション名を選択し、画面右側の［「XXX」のセットアップ］をタッチする

「XXX」にはアプリケーション名が入ります。
選択したメニューによっては別の言葉が表示されます。説明文の下の、下線が引かれている言葉をタッチしてください。

4 表示されるメッセージに従ってインストールを行う

「XXXXX（ファイル名）を実行または保存しますか？」というメッセージが表示された場合は、［実行］ボタンをタッチしてください。

メモ

- Windows 8の場合、［アプリケーションの再インストール］にないアプリケーションは、Windowsストアからダウンロードできる場合があります。

4章

困ったときは

パソコンの操作をしていて困ったときに、どうしたら良いかを説明しています。トラブルが起こったときは、あわてずに、この章を読んで、解消方法を探してみてください。
また、パソコン本体を捨てるときや人に譲るときに知っておいて欲しいことを説明しています。

1 Q&A集

ここに掲載しているQ&A集のほかに、『オンラインマニュアル』にもQ&A集があります。
目的の項目が見つからないときは、『オンラインマニュアル』も参照してください。

1 電源を入れるとき／切るとき

Q 電源スイッチを押して指をはなしても、Power LEDが点灯しない

A 電源スイッチを押す時間が短いと電源が入らないことがあります。

確実に電源スイッチを押してください。Power LEDが点灯することを確認してください。

Q 電源が入るが、すぐに切れてしまう 電源が入らない

A バッテリーの充電量が少ない可能性があります。

本製品用の電源コードとACアダプターを接続し、充電してください。
（他製品用の電源コードとACアダプターは使用できません）

参照 バッテリーの充電について『オンラインマニュアル』

A パソコン内部の温度が一定以上に達すると保護機能が働き、システムが自動的に停止します。

パソコン本体が熱くなっている場合は、涼しい場所に移動するなどして、パソコンの内部温度が下がるのを待ってください。
また、通風孔をふさぐと、パソコンの温度は非常に上昇しやすくなります。通風孔のまわりには物を置かないでください。

A パソコン本体からいったん、電源コードとACアダプターを取りはずしてください。

①電源コードとACアダプターを取りはずす
パソコンに接続している周辺機器も取りはずしてください。
電源コードとACアダプターを取りはずしたままの状態で、しばらく放置してください。

②電源コードとACアダプターを取り付けて、電源プラグをコンセントに差し込む

③電源スイッチを押し、指をはなす
確実に電源スイッチを押してください。Power LEDが点灯することを確認してください。

参照 電源コードとACアダプターの接続
「1章 3 - 1 - 1 電源コードとACアダプターを接続する」

以上の手順でも解決できない場合は、東芝PCあんしんサポートに連絡してください。

Q 電源を入れたが、システムが起動しない

A 起動ドライブをSSD以外に設定した場合に、システムの入っていない記録メディアがセットされている可能性があります。

以下のとおり操作してください。

①システムが入っている記録メディアと取り換える、またはドライブから記録メディアを取り出す

②Windowsボタンを押す、または外付けUSBキーボード（市販品）を接続して何かキーを押す

それでも正常に起動しない場合は、以下の操作を行ってください。

①電源スイッチを５秒以上押して電源を切る

②音量大（＋）ボタンを押しながら、電源スイッチを押す
各種パスワードを設定している場合は、パスワードの入力をうながすメッセージが表示されます。パスワードを入力して Enter キーをタッチしてください。
［BootMenu］画面が表示されます。

③起動したいドライブをタッチする

A Windows 7の場合、セーフ モードまたは前回正常に起動したときの構成で起動しなおすことができます。

電源スイッチを５秒以上押して強制終了してください。

Q 使用中に前触れもなく、突然電源が切れることがある

A パソコン内部の温度が一定以上に達すると保護機能が働き、システムが自動的に停止します。

パソコン本体が熱くなっている場合は、涼しい場所に移動するなどして、パソコンの内部温度が下がるのを待ってください。
また、通風孔をふさぐと、パソコンの温度は非常に上昇しやすくなります。通風孔のまわりには物を置かないでください。
それでも電源が切れる場合は、東芝PCあんしんサポートに連絡してください。

A バッテリー駆動で使用している場合、バッテリーの充電量がなくなった可能性があります。

本製品用の電源コードとACアダプターを接続し、充電してください。
(他製品用の電源コードとACアダプターは使用できません)

参照 バッテリーの充電について『オンラインマニュアル』

Q しばらく操作しないとき、電源が切れる

A Power LEDが白色に点灯している場合、省電力機能が働いた可能性があります。

しばらく操作しないと、画面に表示される内容が見えなくなる場合があります。これは省電力機能が動作したためで、故障ではありません。実際には電源が入っていますので、電源スイッチを押さないでください。
画面にタッチすると表示が復帰します。
テレビまたは外部ディスプレイを接続している場合、表示が復帰するまでに10秒前後かかることがあります。

A Power LEDが白色に点滅しているか、消灯の場合、自動的にスリープまたは休止状態になった可能性があります。

一定時間パソコンを使用しないときに、自動的にスリープまたは休止状態にするように設定されています。
復帰させるには、電源スイッチを押してください。
また、次の手順で設定を解除できます。

■Windows 8の場合

①スタート画面の一番下から上側にフリックする
②[すべてのアプリ]をタッチする
③[Windows システム ツール]の[コントロールパネル]をタッチする
④[システムとセキュリティ]→[電源オプション]をタッチする
⑤利用する電源プランを選択し、[プラン設定の変更]をタッチする
⑥[ディスプレイの電源を切る]および[コンピューターをスリープ状態にする]で[適用しない]を選択する
[バッテリ駆動]と[電源に接続]にそれぞれ設定してください。
⑦[変更の保存]ボタンをタッチする

■Windows 7の場合

①［スタート］ボタン（ ）→［コントロールパネル］をタッチする
②［システムとセキュリティ］→［電源オプション］をタッチする
③利用するプランを選択し、［プラン設定の変更］をタッチする
④［ディスプレイの電源を切る］および［コンピューターをスリープ状態にする］で［なし］を選択する
［バッテリ駆動］と［電源に接続］にそれぞれ設定してください。
⑤［変更の保存］ボタンをタッチする

2 画面／表示

Q 青い画面（ブルースクリーン）が表示され、操作できなくなった

A 電源スイッチを5秒以上押してWindowsを強制終了してください。

システムが操作できなくなったとき以外は行わないでください。強制終了を行うと、スリープ／休止状態は無効になります。また、保存されていないデータは消失します。強制終了したあと、電源を入れ直してください。

A 以上の手順でも解決できない場合は、「本節 3 - Q 再起動や電源を入れ直しても、トラブルが解消しない」を確認してください。

Q 画面表示が回転してしまった

A パソコン本体を傾けて調節してください。

次の手順で元に戻すことができます。

①パソコン本体を持ち上げて、表示したい方向に傾ける
②そのまま向きを固定したい場合は、オリエンテーションロックボタンを押し、画面回転をロックする

参照 『オンラインマニュアル』

A 画面の設定が変更されている可能性があります。

次の手順で元に戻すことができます。
Windows 8の場合はスタート画面で［デスクトップ］をタッチしてから、以下の操作を行ってください。

①デスクトップ画面上のウィンドウやアイコンなどが表示されていない場所を長押しする
②表示されたメニューから［画面の解像度］をタッチする
③［向き］で表示したい方向を選択する
④［OK］ボタンをタッチする
⑤［変更を維持する］ボタンをタッチする

3 システム／SSD

Q パソコンが応答しなくなった

A アプリケーションを終了できない場合や、アプリケーションを終了してもトラブルが解消しない場合は、パソコンを再起動してください。

参照 再起動「1章 5 - 1 - 再起動」

A Windows起動時に問題が起きた場合や、パソコンを再起動できない場合は、電源スイッチを５秒以上押してWindowsを強制終了してください。

システムが操作できなくなったとき以外は行わないでください。強制終了を行うと、スリープ／休止状態は無効になります。また、保存されていないデータは消失します。強制終了したあと、電源を入れ直してください。

A 電源スイッチを５秒以上押しても強制終了できない場合は、シャットダウンホールを押して強制終了し、電源スイッチを押してWindowsを再起動してください。

システムが操作できなくなったとき以外は行わないでください。強制終了を行うと、スリープ／休止状態は無効になります。また、保存されていないデータは消失します。

参照 シャットダウンホール「1章 2 - 2 右側面図」

A 以上の手順でも解決できない場合は、「本項 - Q 再起動や電源を入れ直しても、トラブルが解消しない」を確認してください。

Q 再起動や電源を入れ直しても、トラブルが解消しない

A アプリケーションをインストールしてから、この問題が発生するようになった場合は、インストールしたアプリケーションがWindowsの動作に影響している可能性があります。

アプリケーションをアンインストールしてください。

参照 アンインストール『アプリケーションに付属の説明書』

A 周辺機器を接続してから、この問題が発生するようになった場合は、接続した周辺機器がWindowsの動作に影響している可能性があります。

周辺機器を取りはずしてください。周辺機器によっては、周辺機器に付属のドライバーやアプリケーションをパソコンにインストールしている場合があります。これらのドライバーやアプリケーションもアンインストールしてください。

参照 周辺機器の取り扱いについて『周辺機器に付属の説明書』

4 タッチパネル

Q 画面にタッチしても反応しない

A システムが処理中の可能性があります。

画面に輪の形（ ）が表示されている間は、システムが処理をしている状態のため、操作を受け付けないときがあります。システムの処理が終わるまで待ってから操作してください。

A 画面に異物が付着している可能性があります。

保護フィルムを貼っている場合は、フィルムをはがしてください。

A つめの先では操作できません。

指またはペン*1で操作してください。

＊1 デジタイザーモデルのみ

A 指でタッチする場合、手袋を着けたままでは操作できません。

手袋をはずして操作してください。

A 指でタッチする場合、指が汗や水でぬれている状態では操作できません。

水分をふき取ってから操作してください。

Q ダブルタップがうまくいかないので、速度を変更したい

A 次の手順で、ダブルタップの速度を調節してください。

■Windows 8の場合

①スタート画面の一番下から上側にフリックする
②[すべてのアプリ] をタッチする
③[Windowsシステムツール] の [コントロールパネル] をタッチする
④[ハードウェアとサウンド] → [タッチ入力設定の変更] をタッチする
　[ペンとタッチ] 画面が表示されます。
⑤[ダブルタップ] を選択し、[設定] ボタンをタッチする
　[ダブルタップの設定] 画面が表示されます。
⑥[スピード] のスライダーバーを左右にドラッグする
⑦[OK] ボタンをタッチする
⑧[OK] ボタンをタッチする

■Windows 7の場合

① [スタート] ボタン（ ）→ [コントロールパネル] をタッチする
② [ハードウェアとサウンド] → [ペンとタッチ] をタッチする
[ペンとタッチ] 画面が表示されます。
③ [ダブルタップ] を選択し、[設定] ボタンをタッチする
[ダブルタップの設定] 画面が表示されます。
④ [スピード] のスライダーバーを左右にドラッグする
⑤ [OK] ボタンをタッチする
⑥ [OK] ボタンをタッチする

5 メッセージ

Q 「Password =」と表示された

A 「東芝パスワードユーティリティ」(Windows 8の場合)、「東芝HWセットアップ」(Windows 7の場合)、またはBIOSセットアップで設定したパスワードを入力し、Enter キーをタッチしてください。

パスワードを忘れた場合は、使用している機種（型番）を確認後、東芝PCあんしんサポートに連絡してください。有料にてパスワードを解除します。その際、身分証明書（お客様自身を確認できる物）の提示が必要となります。

Q 「HDD/SSD Password =」と表示された

A BIOSセットアップで設定したHDDパスワードを入力し、Enter キーをタッチしてください。

HDDパスワードを忘れてしまった場合は、SSDは永久に使用できなくなり、交換対応となります。東芝PCあんしんサポートに連絡してください。交換対応は有料です。その際、身分証明書（お客様自身を確認できる物）の提示が必要となります。

Q 起動時に「Windows再開ローダ」が表示され、Windowsが起動しない

＊ Windows 7のみ

A ハードウェアの接続に不具合が起きた、または何らかの原因で電源を切る前の状態を再現できなくなったというメッセージです。

電源を切る前の状態は再現できません。
次の操作を行ってください。

①「Windows再開ローダ」で「復元データを削除してシステムブートメニューに進む」が反転表示していることを確認し、Enterキーをタッチする
②「Windowsエラー回復処理」で「Windowsを通常起動する」が反転表示していることを確認し、Enterキーをタッチする
Windowsが起動します。

Q 起動時に「RTC battery is low Press Windows Button and set the date/time in OS.」と表示され、Windowsが起動しない

A 時計用バッテリーが不足しています。

時計用バッテリーは、電源コードとACアダプターを接続し電源を入れているときに充電されます。

参照 時計用バッテリーについて『オンラインマニュアル』

Windowsボタンを押してWindowsを起動し、次の手順で日時を設定し直してください。

■Windows 8の場合

①スタート画面の一番下から上側にフリックする
②［すべてのアプリ］をタッチする
③［Windows システム ツール］の［ コントロールパネル］をタッチする
④［ 時計、言語、および地域］→［日付と時刻の設定］をタッチする
［日付と時刻］画面が表示されます。
⑤［日付と時刻］タブで［日付と時刻の変更］ボタンをタッチする
⑥日付と時刻を設定する
⑦［OK］ボタンをタッチする
⑧［OK］ボタンをタッチする

■Windows 7の場合

①［スタート］ボタン（ ）→［コントロールパネル］をタッチする
②［ 時計、言語、および地域］をタッチする
③［日付と時刻の設定］をタッチする
　［日付と時刻］画面が表示されます。
④［日付と時刻］タブで［日付と時刻の変更］ボタンをタッチする
⑤日付と時刻を設定する
⑥［OK］ボタンをタッチする
⑦［OK］ボタンをタッチする

Q 起動時に「Intel(R) AT system lock due to: Stolen Message Received …」というメッセージが表示された

A 「マカフィー・アンチセフト」によってパソコンがロックされました。

「マカフィー・アンチセフト」のセットアップ後、一定期間パソコンをインターネットに接続せず、アンチセフトサーバーと同期しなかった場合や、時計用バッテリーが不足した場合など、ロックの機能が動作して起動時にロック解除用のパスワードの入力が必要になる場合があります。
本機能を使用するには、ロック解除用のパスワードを登録したときに使用した外付けUSBキーボード（市販品）が必要です。

①外付けUSBキーボードを接続する
②［1］キーを押す
③「マカフィー・アンチセフト」で、ロック解除用に登録したパスワードを入力し、［Enter］キーを押す

ロック解除用に登録したパスワードを忘れた場合は、マカフィー・テクニカルサポートセンターにお問い合わせください。その際、登録したメールアドレスが必要となります。ロック解除用に登録したメールアドレスを忘れた場合、パソコンのロック解除ができません。

参照 マカフィー・テクニカルサポートセンター
（「マカフィーアンチセフト インストールウィザード」のお問い合わせ先）
「付録 2-2 アプリケーションのお問い合わせ先」

Q 「システムの日付または時刻が無効です」と表示された

A 日付と時刻を設定してください。

Windows Updateやアプリケーションのセットアップを行う場合は、正しい日付と時刻を設定してから行ってください。

参照 日付と時刻の設定について『Windows ヘルプとサポート』

4章 困ったときは

Q 次のようなメッセージが表示された

- 「Insert system disk in drive.Press any key when ready」
- 「Non-System disk or disk error Replace and press any key when ready」
- 「Invalid system disk Replace the disk,and then press any key」
- 「Boot:Couldn't Find NTLDR Please Insert another disk」
- 「Disk I/O error Replace the disk,and then press any key」
- 「Cannot load DOS press key to retry」
- 「Remove disks or other media.Press any key to restart」
- 「NTLDR is missing Press any key to restart」

A 次のとおり操作してください。

①CD／DVDや、USBフラッシュメモリなどの起動ディスクを取り出す
②Windowsボタンを押す、または外付けUSBキーボード（市販品）を接続して何かキーを押す

上記の操作を行っても解決しない場合は、『東芝PCサポートのご案内』で必要事項を確認のうえ、東芝PCあんしんサポートに連絡してください。

Q その他のメッセージが表示された

A 『使用しているシステムやアプリケーションに付属の説明書』を確認してください。

6 TPM

＊TPM搭載モデルのみ

Q 誤ってTPMを初期化してしまった

A バックアップウィザードを使用して、TPMの設定を復元してください。

参照 『TPMのヘルプ』について『オンラインマニュアル』

Q TPMを使用しているパソコンを、修理・保守に出したい

A TPMを使用している場合、修理・保守に出す前に、バックアップウィザードを使用してTPMをバックアップしてください。

なお、修理・保守に出すと、TPMに故障がなくても、TPMが交換される場合があります。その場合は、バックアップウィザードを使用して、TPMの設定を復元してください。

参照 『TPMのヘルプ』について『オンラインマニュアル』

保守サービスについては、『東芝PCサポートのご案内』を確認してください。

7 その他

Q SSDからパソコンを初期状態に戻せなくなったときは

A SSDに搭載されている初期状態に戻すためのツール（システムを復元するためのもの）のデータが破損、もしくは誤って消去されている可能性があります。また、市販のソフトウェアを使用してパーティションの構成を変更すると、パソコンを初期状態に戻せなくなることがあります。

「TOSHIBA Recovery Media Creator」で作成したリカバリーメディアを使って、リカバリーしてください。

参照 Windows 8のリカバリーの操作方法
「3章 2 - 3 リカバリーメディアからパソコンを初期状態に戻す」

参照 Windows 7のリカバリーの操作方法
「3章 3 - 3 リカバリーメディアからパソコンを初期状態に戻す」

リカバリーメディアがない場合は、修理が必要になる可能性があります。東芝PCあんしんサポートに相談してください。

参照 修理のお問い合わせについて『東芝PCサポートのご案内』

Q 異常なにおいや過熱に気づいた！

A パソコン本体、周辺機器の電源を切り、電源コードの電源プラグをコンセントから抜いてください。安全を確認してから東芝PCあんしんサポートに相談してください。

なお、連絡の際には次のことを伝えてください。

- 使用している機器の名称
- 購入年月日
- 現在の状態（できるだけ詳しく連絡してください）

参照 修理のお問い合わせについて『東芝PCサポートのご案内』

Q 操作できない原因がどうしてもわからない

A 『オンラインマニュアル』の「トラブル対処法」を確認してください。

『オンラインマニュアル』の「トラブル対処法」では、トラブルを解決するための対処手順を説明しています。ご確認ください。

参照 『オンラインマニュアル』

A パソコン本体のトラブルの場合は、『東芝PCサポートのご案内』で必要事項を確認のうえ、東芝PCあんしんサポートに連絡してください。

A OSやアプリケーションのトラブルの場合は、各アプリケーションのサポート窓口にお問い合わせください。

参照 OSやアプリケーションのお問い合わせ先「付録 2 お問い合わせ先」

A 周辺機器のトラブルの場合は、各周辺機器のサポート窓口にお問い合わせください。

参照 周辺機器のお問い合わせ先『周辺機器に付属の説明書』

2 問題を解決して起動できるようにする

Windowsが正常に起動しなくなった場合に、問題を解決して起動できるようにするメニューが用意されています。

Windows 8の場合

「詳細オプション」を使用します。

1 データを保存し、次の方法で電源を切る

①画面の右端から左に向かってフリックしてチャームを表示する
②［設定］をタッチする
③［PC設定の変更］をタッチする
④［全般］→［PCの起動をカスタマイズする］の［今すぐ再起動する］をタッチする
⑤オプションの選択画面で［PCの電源を切る］をタッチする

2 電源コードとACアダプターを接続する

3 音量大（+）ボタンを押しながら、電源スイッチを押す

各種パスワードを設定している場合は、パスワードの入力をうながすメッセージが表示されます。パスワードを入力して *Enter* キーをタッチしてください。
［BootMenu］画面が表示されます。

4 ［HDD Recovery］をタッチする

■「HDD リカバリーをスタートします。」と表示された場合

「はい」または「Yes」を選択して *Enter* キーをタッチしてください。

［キーボード レイアウトの選択］画面が表示された場合は、手順 **5** に進んでください。
［オプションの選択］画面が表示された場合は、手順 **6** に進んでください。

5 ［Microsoft IME］を選択する

［オプションの選択］画面が表示されます。

6 ［トラブルシューティング］をタッチする

［トラブルシューティング］画面が表示されます。

7 ［詳細オプション］をタッチする

「詳細オプション」が起動します。

8 使いたいメニュー名をタッチする

この後の操作は、メニューによって異なります。表示された画面の指示に従って操作してください。

Windows 7の場合

「システム回復オプション」を使用します。
本機能を使用するには、外付けUSBキーボードとマウス（ともに市販品）が必要です。あらかじめキーボードとマウスを用意してから実行してください。

1 データを保存し、Windowsを終了させて電源を切る

2 外付けUSBキーボードを接続する

3 電源スイッチを押し、製品ロゴが表示されたら、メニューが表示されるまで F8 キーを数回押す

各種パスワードを設定している場合は、パスワードの入力をうながすメッセージが表示されます。パスワードを入力して Enter キーを押してください。そのあとすぐに、F8 キーを再び数回押してください。
「詳細ブート オプション」が表示されます。

4 ［コンピューターの修復］を選択し、Enter キーを押す

キーボードの選択画面が表示されます。

5 ［日本語］を選択し、［次へ］ボタンをクリックする

ログオン画面が表示されます。

6 ユーザー名を選択し、Windowsログオンパスワードを入力する

7 ［OK］ボタンをクリックする

「システム回復オプション」が起動します。

- スタートアップ修復
  システムファイルの不足や破損など、Windowsの正常な起動を妨げる可能性のある問題を解決し、正常に起動できるようにします。
- システムの復元
  システムファイルを正常に機能していた日時の状態に復元することができます。
- システム イメージの回復
  以前に作成したシステム イメージを使用して、コンピューターを回復します。
  システム イメージの詳細は、『Windows ヘルプとサポート』を参照してください。
- Windows メモリ診断
  メモリが正常に機能しているかどうかを確認します。
- コマンド プロンプト
  コマンド プロンプトに切り替えます。
- TOSHIBA Recovery Wizard
  リカバリーメニューを表示します。

8 使いたいメニュー名をクリックする

このあとの操作は、メニューによって異なります。表示された画面の指示に従って操作してください。

3 捨てるとき／人に譲るとき

パソコンを捨てたり人に譲ったりする前に、お客様登録を削除したり、SSDの内容を消去してください。

1 お客様登録の削除について

- **ホームページから削除する**

  東芝ID（TID）をお持ちの場合はこちらからお願いします。

  ①インターネットで「http://toshibadirect.jp/room1048/」へ接続する

  ②ページ右の［ログイン］をタッチする

  ［ログイン］画面が表示されます。

  ③［東芝ID（TID）］と［パスワード］に入力し、［ログイン］ボタンをタッチする

  マイページが表示されます。

  ④ページ右下の［退会］をタッチする

  ※退会ではなく、商品の削除のみのお客様は、マイページの「登録済み商品一覧」で商品削除を行ってください。

  ※Room1048を退会されますと、「東芝ダイレクト」での購入履歴やRoom1048会員限定サービスなどもご利用いただけなくなりますので、あらかじめご了承ください。

- **電話で削除する**

  「東芝ID事務局（お客様情報変更）」までご連絡ください。

  - 東芝ID事務局（お客様情報変更）
    TEL　　　：0570-09-1048（ナビダイヤル）
    受付時間 ：10:00～17:00（土・日、祝日、東芝特別休日を除く）

紹介しているホームページや電話番号は、お客様登録の内容変更や削除に関するお問い合わせ窓口です。
技術的なご相談や修理に関するお問い合わせは、『東芝PCサポートのご案内』を確認してください。

またリサイクルに関しては、『東芝PCサポートのご案内』を参照してください。

2 SSDの内容をすべて消去する

パソコン上のデータは、削除操作をしても実際には残っています。普通の操作では読み取れないようになっていますが、特殊な方法を実行すると削除したデータでも再現できてしまいます。そのようなことができないように、パソコンを廃棄または譲渡する場合など、他人に見られたくないデータを読み取れないように、消去することができます。

なお、SSDに保存されている、データやプログラムなどはすべて消失します。パーティションも消失します。これらを復元することはできませんので、注意してください。

Windows 8の操作手順

SSDの内容を削除するには、SSDの消去機能、または作成したリカバリーメディアを使用します。

お願い　パソコンを譲渡する場合には

SSDの内容を削除すると、SSD内のデータと共に初期状態に戻す機能も消去されます。再びシステム（OS）やアプリケーションを使用したい場合は、あらかじめリカバリーメディアを作成しておいてください。

参照 リカバリーメディアの作成『オンラインマニュアル』

■SSDの消去機能から行う方法

1 データを保存し、次の方法で電源を切る

①画面の右端から左に向かってフリックしてチャームを表示する
②［設定］をタッチする
③［PC設定の変更］をタッチする
④［全般］→［PCの起動をカスタマイズする］の［今すぐ再起動する］をタッチする
⑤オプションの選択画面で［PCの電源を切る］をタッチする

2 電源コードとACアダプターを接続する

3 音量大（+）ボタンを押しながら、電源スイッチを押す

各種パスワードを設定している場合は、パスワードの入力をうながすメッセージが表示されます。パスワードを入力して Enter キーをタッチしてください。
［BootMenu］画面が表示されます。

4 ［HDD Recovery］をタッチする

メッセージが表示されますので、 y をタッチしてください。
［キーボード レイアウトの選択］画面が表示された場合は、手順 5 に進んでください。
［オプションの選択］画面が表示された場合は、手順 6 に進んでください。

5 ［Microsoft IME］をタッチする

［オプションの選択］画面が表示されます。

6 ［トラブルシューティング］を選択する

［トラブルシューティング］画面が表示されます。

7 ［TOSHIBA Maintenance Utility］を選択する

「目的のオペレーティングシステムを選んでください。」と表示された場合は、手順 8 に進んでください。
消去方法を選択する画面が表示された場合は、手順 9 に進んでください。

8 ［Windows 8］をタッチする

消去方法を選択する画面が表示されます。

9 目的に合わせて、［標準データの消去］または［機密データの消去］をチェックし、［次へ］ボタンをタッチする

通常は［標準データの消去］を選択してください。データを読み取れなくなります。より確実にデータを消去するためには、［機密データの消去］を選択してください。数時間かかりますが、データは消去されます。

［データの消去を開始します。］画面が表示されます。

10 ［次へ］ボタンをタッチする

処理を中止する場合は、［キャンセル］ボタンをタッチしてください。

［次へ］ボタンをタッチすると消去が実行されます。

消去が完了すると、終了画面が表示されます。

11 ［終了］ボタンをタッチする

■リカバリーメディアから行う方法

リカバリーメディアは、あらかじめ作成しておく必要があります。

参照 リカバリーメディアの作成『オンラインマニュアル』

DVDのリカバリーメディアを使用する場合は、あらかじめ外付けのDVD／ブルーレイディスクドライブ（市販品）を接続してください。

参照 接続方法『DVD／ブルーレイディスクドライブに付属の説明書』

＊すべての外付けDVD／ブルーレイディスクドライブでの動作は保証できません。

1 電源コードとACアダプターを接続する

2 リカバリーメディアをセットする

リカバリーメディアが複数枚ある場合は、「ディスク1」からセットしてください。
USBフラッシュメモリの場合はUSBコネクタに差し込んでください。

3 データを保存し、次の方法で電源を切る

①画面の右端から左に向かってフリックしてチャームを表示する
②［設定］をタッチする
③［PC設定の変更］をタッチする
④［全般］→［PCの起動をカスタマイズする］の［今すぐ再起動する］をタッチする
⑤オプションの選択画面で［PCの電源を切る］をタッチする

4 音量大（＋）ボタンを押しながら、電源スイッチを押す

各種パスワードを設定している場合は、パスワードの入力をうながすメッセージが表示されます。パスワードを入力して Enter キーをタッチしてください。
［BootMenu］画面が表示されます。

5 起動したいドライブをタッチする

リカバリーメディアがDVDの場合は外付けのDVD／ブルーレイディスクドライブを示す項目（［USB ODD］など）、リカバリーメディアがUSBフラッシュメモリの場合はUSBフラッシュメモリを示す項目（［USB Memory］など）を選択してください。

「TOSHIBA Recovery Wizard」か「システム回復オプション」かを選択する画面が表示されます。

6 ［TOSHIBA Recovery Wizard］をチェックし、［次へ］ボタンをタッチする

警告メッセージ画面が表示されます。

7 画面の内容を確認し、［はい］ボタンをタッチする

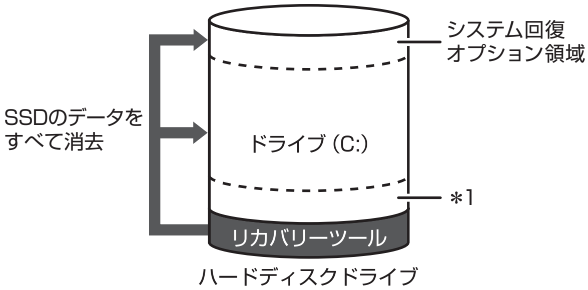
8 ［ハードディスク上の全データの消去］をチェックし、［次へ］ボタンをタッチする

消去方法を選択する画面が表示されます。

以降は、「本節 2 -SSDの消去機能から行う方法」の手順 9 以降を参照してください。

Windows 7の操作手順

SSDの内容を削除するには、SSDのリカバリーツール、または作成したリカバリーメディアを使用します。
SSDのリカバリーツールを使用すると、SSD内のデータはすべて消去されますが、リカバリーツールは残ります。



＊1 Intel® Rapid Start Technologyで使用している領域

作成したリカバリーメディアを使用すると、SSD内のデータと共にリカバリーツールも消去されます。

■SSDのリカバリーツールから行う方法

1 データを保存し、Windowsを終了させて電源を切る

参照 電源の切りかた「1章 5 - 1 電源を切る」

2 電源コードとACアダプターを接続する

3 音量大（＋）ボタンを押しながら、電源スイッチを押す

各種パスワードを設定している場合は、パスワードの入力をうながすメッセージが表示されます。パスワードを入力して Enter キーをタッチしてください。
［BootMenu］画面が表示されます。

4 ［HDD Recovery］をタッチする

警告メッセージ画面が表示されます。

■OSのタイプを選択する画面が表示された場合

［次へ］ボタンをタッチしてください。

5 画面の内容を確認し、［はい］ボタンをタッチする

［復元方法の選択］画面が表示されます。

6 ［ハードディスク上の全データの消去］をチェックし、［次へ］ボタンをタッチする

消去方法を選択する画面が表示されます。

4章 困ったときは

7 目的に合わせて、［標準データの消去］または［機密データの消去］をチェックし、［次へ］ボタンをタッチする

通常は［標準データの消去］を選択してください。データを読み取れなくなります。
より確実にデータを消去するためには、［機密データの消去］を選択してください。数時間かかりますが、データは消去されます。
［データの消去を開始します。］画面が表示されます。

8 ［次へ］ボタンをタッチする

処理を中止する場合は、［キャンセル］ボタンをタッチしてください。
［次へ］ボタンをタッチすると、消去が実行されます。
消去が完了すると、終了画面が表示されます。

9 ［終了］ボタンをタッチする

■作成したリカバリーメディアから行う方法

リカバリーメディアは、あらかじめ作成しておく必要があります。

参照 『オンラインマニュアル』

外付けのDVD／ブルーレイディスクドライブ（市販品）を使用して、DVDのリカバリーメディアでリカバリーする場合は、あらかじめ外付けのDVD／ブルーレイディスクドライブ（市販品）を接続してください。

＊ すべての外付けDVD／ブルーレイディスクドライブでの動作は保証できません。

参照 接続方法『DVD／ブルーレイディスクドライブに付属の説明書』

1 電源コードとACアダプターを接続する

2 リカバリーメディアをセットする

リカバリーメディアが複数枚ある場合は、「ディスク1」からセットしてください。
USBフラッシュメモリの場合はUSBコネクタに差し込んでください。

3 データを保存し、Windowsを終了させて電源を切る

参照 電源の切りかた「1章 5 - 1 電源を切る」

4 音量大（＋）ボタンを押しながら、電源スイッチを押す

各種パスワードを設定している場合は、パスワードの入力をうながすメッセージが表示されます。パスワードを入力して Enter キーをタッチしてください。
［BootMenu］画面が表示されます。

5 **起動したいドライブをタッチする**

リカバリーメディアがDVDの場合は外付けのDVD／ブルーレイディスクドライブを示す項目（[USB ODD] など)、リカバリーメディアがUSBフラッシュメモリの場合はUSBフラッシュメモリを示す項目（[USB Memory] など）を選択してください。

警告メッセージ画面が表示されます。

■「TOSHIBA Recovery Wizard」か「システム回復オプション」かを選択する画面が表示された場合

[TOSHIBA Recovery Wizard]をチェックし、[次へ]ボタンをタッチしてください。警告メッセージ画面が表示されます。

■OSのタイプを選択する画面が表示された場合

[次へ] ボタンをタッチしてください。

以降は、本項の「SSDのリカバリーツールから行う方法」の手順 **4** 以降を参照してください。

3 TPMの内容を消去する

＊TPM搭載モデルのみ

TPMを使用している場合、SSDだけでなく、TPM内部のデータを削除する必要があります。登録情報など、セキュリティに関する重要な情報が含まれるため、必ずデータを削除してください。

参照 『オンラインマニュアル』

付録

本製品の機能を使用するにあたってのお願いや技術基準適合などについて記しています。

1 ご使用にあたってのお願い

本書で説明している機能をご使用にあたって、知っておいていただきたいことや守っていただきたいことがあります。次のお願い事項を、本書の各機能の説明とあわせて必ずお読みください。

1 パソコン本体について

スイッチ／ボタンの操作にあたって

- スイッチ／ボタンを強く押さえたり、ボールペンなどの先の鋭いものを使ったりしないでください。スイッチ／ボタンが故障するおそれがあります。

機器への強い衝撃や外圧について

- 機器に強い衝撃や外圧を与えないように注意してください。製品には精密部品を使用しておりますので、強い衝撃や外圧を加えると部品が故障するおそれがあります。
- パソコンの表面を硬いものでこすると傷がつくことがあります。
  取り扱いにはご注意ください。

画面のタッチ操作にあたって

- 画面をタッチするときは、強く押さないでください。
- 画面は指または付属のペン*1で操作してください。先のとがったものや硬いもの（つめ、鉛筆、ボールペンなど）で画面をタッチしたり押さえつけたりしないでください。画面を傷つけるおそれがあります。
  ＊1 デジタイザーモデルのみ
- 画面に保護フィルムを貼らないでください。
  保護フィルムを貼ると、タッチ操作が正しく行われないおそれがあります。

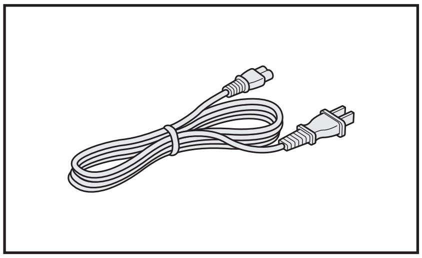
デジタイザーペン／リザーブペンの操作にあたって

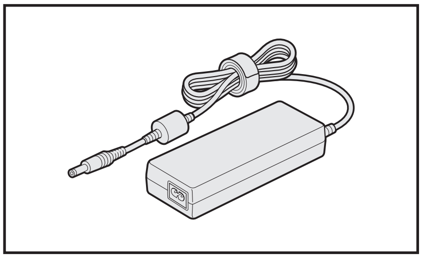
- 指紋などで画面が汚れていると、ペンの反応が悪くなるおそれがあります。
  このような場合は、付属のクリーナークロスで画面をふいてご使用ください。
  画面をふくときには、強い力を加えないでください。
- 画面に保護フィルムを貼らないでください。
  保護フィルムを貼ると、ペンの反応が悪くなるおそれがあります。

2 電源コード、ACアダプターの取り扱いについて

- 電源コードやケーブルは束ねずに、ほどいた状態で使用してください。ご使用時は、あらかじめ『安心してお使いいただくために』に記載されている記述をよく読み、必ず指示を守ってください。

● 電源コードやACアダプターを持ち運ぶときには、次の図のように正しくケーブルを束ねてください。電源コード、ACアダプターは、購入されたモデルにより異なります。





3 周辺機器について

パソコン本体への機器の取り付け／取りはずしについて

● 取り付け／取りはずしの方法は機器によって違います。『オンラインマニュアル』を読んでから作業をしてください。またその際には、次のことを守ってください。守らなかった場合、故障するおそれがあります。
- ・ホットインサーションに対応していない機器を接続する場合は、必ずパソコン本体の電源を切ってから作業を行ってください。ホットインサーションとは、電源を入れた状態で機器の取り付け／取りはずしを行うことです。
- ・適切な温度範囲内、湿度範囲内であっても、結露しないように急激な温度変化を与えないでください。冬場は特に注意してください。
- ・ほこりが少なく、直射日光のあたらない場所で作業をしてください。
- ・極端に温度や湿度の高い／低い場所では作業しないでください。
- ・静電気が発生しやすい環境（乾燥した場所やカーペット敷きの場所など）では作業をしないでください。
- ・本製品を分解、改造すると、保証やその他のサポートは受けられません。
- ・パソコン本体のコネクタにケーブルを接続するときは、コネクタの上下や方向を合わせてください。
- ・パソコン本体のコネクタにケーブルを接続した状態で、接続部分に無理な力を加えないでください。

付録

2 お問い合わせ先
－OS／アプリケーション－

本製品に用意されているOS、アプリケーションのお問い合わせ先を紹介しています。
各アプリケーションを使っていて困ったときは、こちらに連絡してください。

**＊2013年３月現在の内容です。
各社の事情で、受付時間などが変更になる場合があります。**

1 OSのお問い合わせ先

Windows 8に関する一般的なお問い合せ先は、東芝PCあんしんサポートになります。

Windows 8に関する一般的なサポート情報は、以下のホームページでもご確認いただくことができます。

http://support.microsoft.com

2 アプリケーションのお問い合わせ先

各アプリケーションのユーザー登録については、それぞれのお問い合わせ先までお問い合わせください。
用意されているアプリケーションはご購入のモデルにより異なります。

Excel 2013／OneNote 2013／Outlook 2013／PowerPoint 2013／Word 2013

日本マイクロソフト株式会社 サポート受付窓口

●基本操作に関するお問い合わせ

<メール サポート>

以下の Web サイトにアクセスし、ご質問または問題に関連する製品を選択してください。

ホームページ　：http://support.microsoft.com/oas/
受付時間　：24 時間いつでも受け付けています。

<電話サポート>

フリーダイヤル　：0120-54-2244
※下記番号へのお問い合わせの場合は通信費はお客様負担
東京　03-4332-5458　　大阪　06-6530-4231
※ご利用の際は、電話番号をお間違えないようご注意ください。
※音声ガイダンスが流れますので、ガイダンスに従って番号のご選択をお願いいたします。

受付時間　：月曜日～金曜日：9:30 ～ 12:00、13:00 ～ 19:00
土曜日：10:00 ～ 17:00
（祝日、日本マイクロソフト株式会社指定休業日を除きます。日本マイクロソフト株式会社指定休業日以外で日曜日が祝日である場合には、日曜日は上記土曜日と同様の受付を行い、翌日の振替休日が休業となります。）

● **サポート有効期間**　：お客様が初めてお問い合わせいただいた日から起算して90日間（※）
※サポート ライフサイクル期間内

●ホームページ　：http://support.microsoft.com/select/

お問い合わせに関する詳細は、本体に同梱されている冊子『Officeお使いになる前に』をご覧ください。

ウイルスバスター クラウド™ 90日版／ウイルスバスター2012 クラウド™ 90日版

ウイルスバスターサービスセンター

受付時間　：9:30～17:30
TEL　：0570-008326
03-6738-6062（IP電話・光電話からのお問い合わせ）
E-mail　：http://tmqa.jp/r924/
ホームページ　：http://tmqa.jp/toshiba/

付録

マカフィーアンチセフト インストールウィザード		
マカフィー・テクニカルサポートセンター		
（マカフィーアンチセフトに関する技術的な問い合わせ）		
受付時間	：	9:00～21:00（年中無休）
TEL	：	0570-060-033（ナビダイヤル） 03-5428-2279（ナビダイヤルがご利用いただけないお客様用）
E-mail	：	以下のWebフォームをご利用ください。 http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/supportcenter_inquiry_ts.asp
ホームページ	：	http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/faq/answer_p_spec.asp?wk=SP-00055
マカフィー・カスタマーオペレーションセンター		
（ユーザー登録や登録情報変更などの製品以外に関する問い合わせ）		
受付時間	：	月曜～金曜：9:00～17:00（年末年始、祝日を除く）
TEL	：	0570-030-088（ナビダイヤル） 03-5428-1792（ナビダイヤルがご利用いただけないお客様用）
E-mail	：	以下のWebフォームをご利用ください。 http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/supportcenter_inquiry_coc.asp
ホームページ	：	http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/faq/answer_p_spec.asp?wk=SP-00055
マカフィー・インフォメーションセンター		
（製品購入前の製品に関する問い合わせ、サイト評価に関する問い合わせ）		
受付時間	：	月曜～金曜：9:00～17:00（年末年始、祝日を除く）
TEL	：	0570-010-220（ナビダイヤル） 03-5428-1899（ナビダイヤルがご利用いただけないお客様用）
E-mail	：	以下のWebフォームをご利用ください。 http://www.mcafee.com/japan/mcafee/home/msup/information_center.asp
ホームページ	：	http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/faq/answer_p_spec.asp?wk=SP-00055
マカフィー・テクニカルサポートセンターではチャットによるサポートもご提供しています。		
チャット	：	http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/chat.asp

i-フィルター6.0（90日版）		
デジタルアーツ株式会社　サポートセンター		
受付時間	：	10:00～18:00 （デジタルアーツ指定休業日を除く）
TEL	：	0570-00-1334
E-mail	：	p-support@daj.co.jp
ホームページ	：	【よくある質問】　http://www.daj.jp/cs/support/pc/if6/ 【お問い合わせフォーム】　http://www.daj.jp/ask/

その他のアプリケーション ※本製品を購入後に追加したアプリケーションに関しては、製造元各社へお問い合わせください。		
東芝（東芝PCあんしんサポート）		
全国共通電話番号	：	0120-97-1048（通話料・電話サポート料無料） おかけいただくと、ガイダンスが流れます。ガイダンスに従って操作してください。 技術的な質問、お問い合わせは、ガイダンスの後で 1 をプッシュしてください。
		技術相談窓口　受付時間：9:00～19:00（年中無休）
[電話番号はおまちがえないよう、ご確認の上おかけください]		
海外からの電話、携帯電話、PHS、一部のIP電話および直収回線など回線契約によってはつながらない場合がございます。その場合はTEL 043-298-8780（通話料お客様負担）にお問い合わせください。		
システムメンテナンスのため、サポートを休止させていただく場合がございます。日程は、サポートサイト（http://dynabook.com/assistpc/index_j.htm）にてお知らせいたします。		
お客様の個人情報の取り扱い全般に関する当社の考えかたをご覧になりたいかたは、(株)東芝の個人情報保護方針のページ（http://www.toshiba.co.jp/privacy/index_j.htm）をご覧ください。		

3 セーフモードで起動する

＊Windows 7のみ

Windowsが起動しないときに、Windowsをセーフモードまたは前回正常に起動したときの構成で起動する方法があります。セーフモードでは、最低限の機能でWindowsを起動させることができます。
本機能を使用するには、外付けUSBキーボードとマウス（ともに市販品）が必要です。あらかじめキーボードとマウスを用意してから実行してください。

1 データを保存し、Windowsを終了させて電源を切る

2 外付けUSBキーボードを接続する

3 電源スイッチを押し、製品ロゴが表示されたら、メニューが表示されるまで F8 キーを数回押す

各種パスワードを設定している場合は、パスワードの入力をうながすメッセージが表示されます。パスワードを入力して Enter キーを押してください。そのあとすぐに、F8 キーを再び数回押してください。

4 メニューが表示されたら、目的に合わせて［セーフ モード］または［前回正常起動時の構成（詳細)］を選択し、 Enter キーを押す

付録

4 技術基準適合について

『オンラインマニュアル』にも技術基準適合に関する説明が記載されています。本書だけでなく、『オンラインマニュアル』の記載もあわせてご確認ください。

■瞬時電圧低下について

この装置は、社団法人　電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピューターの瞬時電圧低下対策のガイドラインを満足しております。しかし、ガイドラインの基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合を生じることがあります。

■電波障害自主規制について

参照 『オンラインマニュアル』

付録

5 無線LAN／Bluetoothについて

＊Bluetooth機能については、Bluetooth機能搭載モデルのみ対象となります。
＊5GHzの無線LANについては、IEEE802.11aをサポートしているモデルのみ対象となります。

1 無線LANの概要

本製品には、IEEE802.11a、IEEE802.11b、IEEE802.11g、IEEE802.11nのすべて、もしくはその一部に準拠した無線LANが搭載されています。
本書では、搭載された無線LANの種類によって説明が異なる項目があります。
使用しているパソコンに搭載された無線LANの種類の確認については、次の説明を確認してください。

参照 『オンラインマニュアル』

付録

■無線LANの仕様

無線周波数帯	IEEE802.11a, IEEE802.11n	5GHz（5150-5350MHz、および 5470-5725MHz）
	IEEE802.11b, IEEE802.11g, IEEE802.11n	2.4GHz（2400-2483MHz）
変調方式	IEEE802.11a, IEEE802.11g	直交周波数分割多重方式 OFDM-BPSK, OFDM-QPSK, OFDM-16QAM, OFDM-64QAM
	IEEE802.11b	直接拡散方式 DSSS-CCK, DSSS-DQPSK, DSSS-DBPSK
	IEEE802.11n	直交周波数分割多重方式（OFDM方式）

2 無線LANのサポートする周波数帯域

無線LANがサポートする5GHz帯および2.4GHz帯のチャネルは、国／地域で適用される無線規制によって異なる場合があります（表「無線IEEE802.11 チャネルセット」参照）。

■無線IEEE802.11 チャネルセット

● 5GHz帯：5150-5350MHz および、5470-5725MHz
（IEEE802.11a、IEEE802.11nの場合）

	チャネルID	周波数
W52	36	5180
	40	5200
	44	5220
	48	5240
W53	52	5260
	56	5280
	60	5300
	64	5320
W56	100	5500
	104	5520
	108	5540
	112	5560
	116	5580
	120	5600
	124	5620
	128	5640
	132	5660
	136	5680
	140	5700

アクセスポイント側のチャネル（W52/W53/W56）に合わせて、そのチャネルに自動的に設定されます。

メモ

- W52、W53は電波法令により屋外で使用することはできません。
- IEEE802.11aおよびIEEE802.11nモードではアドホック通信は使用できません。
- アドホック通信でのピアツーピア接続は、Ch1～Ch11で使用できます。
- インフラストラクチャ通信でのアクセスポイントへの接続は、Ch1～Ch13，Ch36，Ch40，Ch44，Ch48，Ch52，Ch56，Ch60，Ch64，Ch100，Ch104，Ch108，Ch112，Ch116，Ch120，Ch124，Ch128，Ch132，Ch136，Ch140で使用できます。

● 2.4GHz帯：2400-2483MHz（IEEE802.11b/g、IEEE802.11nの場合）

チャネルID	周波数
1	2412
2	2417
3	2422
4	2427
5	2432
6	2437
7	2442
8	2447
9	2452
10	2457[*1]
11	2462
12	2467
13	2472

＊1 購入時に、アドホックモード接続時に使用するチャネルとして設定されているチャネルです。

メモ

- IEEE802.11nモードではアドホック通信は使用できません。
- アドホック通信でのピアツーピア接続は、Ch1～Ch11で使用できます。
- インフラストラクチャ通信は、Ch1～Ch13で使用できます。

3 Bluetoothの仕様

ワイヤレス通信	通信方式	Bluetooth Specification Ver.4.0
	無線周波数帯	2.4GHz（2402～2480MHz）
	変調方式	周波数ホッピング方式　２値FSK

4 無線特性

無線LANおよびBluetoothの無線特性は、製品を購入した国／地域、購入した製品の種類により異なる場合があります。

多くの場合、無線通信は使用する国／地域の無線規制の対象になります。国／地域によって使用が規制されています。無線ネットワーク機器は、無線免許の必要ない5GHzおよび2.4GHz帯で動作するように設計されていますが、国／地域の無線規制により無線ネットワーク機器の使用に多くの制限が課される場合があります。

無線機器の通信範囲と転送レートには相関関係があります。無線通信の転送レートが低いほど、通信範囲は広くなります。

メモ

- アンテナの近くに金属面や高密度の固体があると、無線デバイスの通信範囲に影響を及ぼすことがあります。
- 無線信号の伝送路上に無線信号を吸収または反射し得る"障害物"がある場合も、通信範囲に影響を与えます。

5 本製品を日本でお使いの場合のご注意

日本では、本製品を第二世代小電力データ通信システムに位置付けており、その使用周波数帯は2,400MHz～2,483.5MHzです。この周波数帯は、移動体識別装置（移動体識別用構内無線局及び移動体識別用特定小電力無線局）の使用周波数帯2,427MHz～2,470.75MHzと重複しています。

■ステッカー

本製品を日本国内にてご使用の際には、本製品に付属されている次のステッカーをパソコン本体に貼り付けてください。

この機器の使用周波数帯は　2.4GHz帯です。この周波数では電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用されている免許を要する移動体識別用の構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかにこの機器の使用チャンネルを変更するか、使用場所を変えるか、又は機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. その他、電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、東芝PCあんしんサポートへお問い合わせください。

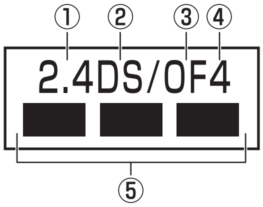
■東芝PCあんしんサポート

東芝PCあんしんサポートの連絡先は、『東芝PCサポートのご案内』を参照してください。

❏ 無線LAN

■ 現品表示

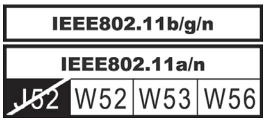
本製品または無線LANモジュールには、次に示す現品表示が記載されています。



（表示例）

① 2.4　：2,400MHz帯を使用する無線設備を表す。
② DS　：変調方式がDS-SS方式であることを示す。
③ OF　：変調方式がOFDM方式であることを示す。
④ 4　：想定される与干渉距離が40m以下であることを示す。
⑤ ■■■：2,400MHz〜2,483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する。

■ JEITAロゴ表記について

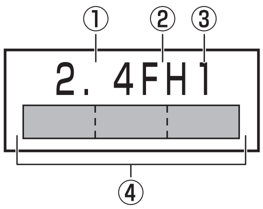


5GHz帯無線LANは、W52/W53/W56チャネルをサポートしています。

❏ Bluetooth

■ 現品表示

本製品またはBluetoothモジュールには、次に示す現品表示が記載されています。



（表示例）

① 2.4　：2,400MHz帯を使用する無線設備を表す。
② FH　：変調方式がFH-SS方式であることを示す。
③ 1　：想定される与干渉距離が10m以下であることを示す。
④ 　：2,400MHz〜2,483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味する。

付録

6 機器認証表示について

本製品には、電気通信事業法に基づく小電力データ通信システムの無線局として、認証を受けた無線設備を搭載しています。したがって、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。

■Intel 6235 a/b/g/nモジュールの場合（Bluetooth機能搭載）

無線設備名　：　6235ANHMW
株式会社　ディーエスピーリサーチ
認証番号　　：　D111083003

■Qualcomm Atheros 9485WB-EG b/g/n モジュールの場合（Bluetooth機能搭載）

無線設備名　：　AR5B225
株式会社　ディーエスピーリサーチ
認証番号　　：　D110317003

本製品に組み込まれた無線設備は、本製品に実装して使用することを前提に、小電力データ通信システムの無線局として工事設計の認証を取得しています。したがって、組み込まれた無線設備をほかの機器へ流用した場合、電波法の規定に抵触するおそれがありますので、十分にご注意ください。

7 お知らせ

無線製品の相互運用性

■無線LAN

本製品に搭載されている無線LANは、Direct Sequence Spread Spectrum（DSSS）／Orthogonal Frequency Division Multiplexing（OFDM）無線技術を使用する無線LAN製品と相互運用できるように設計されており、次の規格に準拠しています。

- Institute of Electrical and Electronics Engineers（米国電気電子技術者協会）策定のIEEE802.11 Standard on Wireless LANs（Revision a/b/g/n）（無線LAN標準規格（版数 a/b/g/n））

■Bluetooth

本製品に搭載されているBluetoothは、Frequency Hopping Spread Spectrum（FHSS）無線技術を使用するBluetooth ワイヤレステクノロジーを用いた製品と相互運用できるように設計されており、次の規格に準拠しています。

- Bluetooth Special Interest Group策定のBluetooth Specification Ver.4.0
- Bluetooth Special Interest Groupの定義するBluetooth ワイヤレステクノロジーのLogo認証

メモ

- 本製品はすべてのBluetooth ワイヤレステクノロジーを用いた機器との接続動作を確認したものではありません。ご使用にあたっては、Bluetooth ワイヤレステクノロジーを用いた機器対応の動作条件と接続の可否情報を取扱元にご確認ください。

また下記の取り扱い上の注意点があります。

（1）Bluetooth Version1.0B 仕様のBluetooth ワイヤレステクノロジーを用いた機器とは互換性がありません。

（2）2.4GHz帯の無線LANが近距離で使用されていると通信速度の低下または通信エラーが発生する可能性があります。

（3）Bluetoothと無線LANは同じ無線周波数帯を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下やネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、今お使いのBluetooth、無線LANのいずれかの使用を中止してください。

健康への影響

本製品に搭載されている無線LANおよびBluetoothは、ほかの無線製品と同様、無線周波の電磁エネルギーを放出します。しかしその放出エネルギーは、携帯電話などの無線機器と比べるとはるかに低いレベルにおさえられています。
本製品に搭載されている無線LANおよびBluetoothの動作は無線周波に関する安全基準と勧告に記載のガイドラインにそっており、安全にお使いいただけるものと東芝では確信しております。この安全基準および勧告には、学会の共通見解と、多岐にわたる研究報告書を継続的に審査、検討している専門家の委員会による審議結果がまとめられています。
ただし周囲の状況や環境によっては、建物の所有者または組織の責任者が無線LANおよびBluetoothの使用を制限する場合があります。次にその例を示します。

- 飛行機の中で無線LANおよびBluetoothを用いた装置を使用する場合
- ほかの装置類またはサービスへの電波干渉が認められるか、有害であると判断される場合

個々の組織または環境（空港など）において無線機器の使用に関する方針がよくわからない場合は、無線通信機能をONにする前に、個々の組織または施設環境の管理者に対して、本製品の使用可否について確認してください。

付録

規制に関する情報

本製品に搭載されている無線LANのインストールと使用に際しては、必ず製品付属の説明書に記載されている製造元の指示に従ってください。本製品は、無線周波基準と安全基準に準拠しています。

8 使用できる国／地域について

海外で無線通信機能を使用する場合は、使用される国／地域の無線規格を取得している必要があります。
無線規格を取得している国／地域に関する情報は、「dynabook.com」をご覧ください。

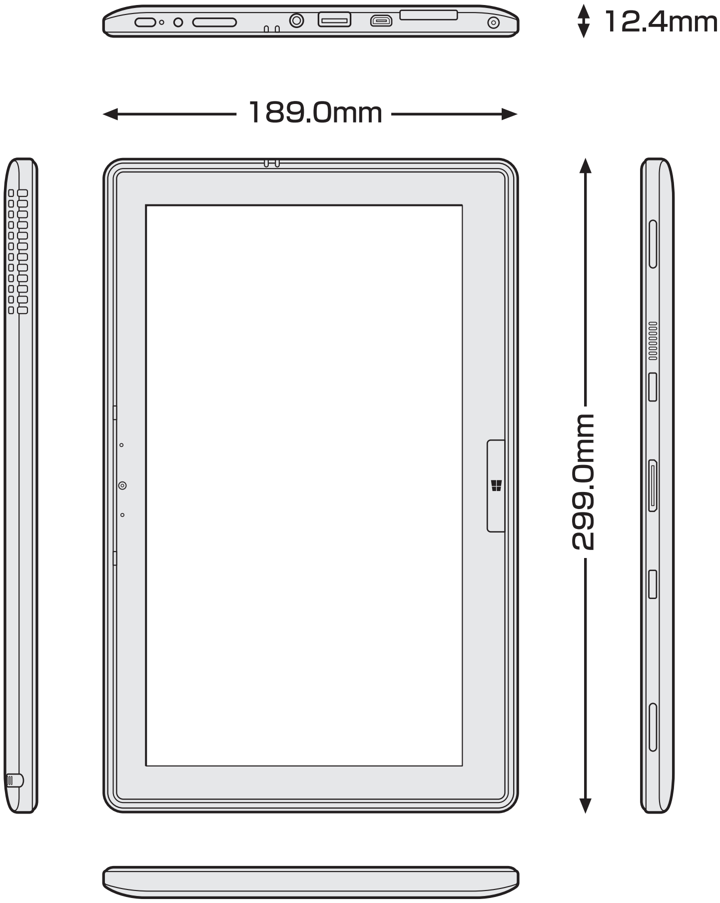
参照 「dynabook.com」について『東芝PCサポートのご案内』

また、無線規格を取得していない国／地域では、パソコン本体の無線通信機能をOFFにしてください。

参照 無線通信機能のOFFについて「1章 5 - 1 電源を切る」の警告

6 外形寸法図

＊数値は突起部を含みません。



リカバリーチェックシート

パソコンを初期状態に戻す（リカバリー）前に、本ページをコピーするなどして、次の項目を順番にチェックしながら実行してください。本ページに記載されている各チェック項目の詳細は、「3章 買ったときの状態に戻すには」で説明しています。

1 パソコンを初期状態に戻す前に確認すること

□ ウイルスチェックソフトで、ウイルス感染のチェックを実行する
□ Windows 7の場合は、セーフ モードで起動できるかどうか実行してみる
□ 周辺機器をすべて取りはずし、再度確認してみる
□「4章 困ったときは」や『オンラインマニュアル』をご覧になり、ほかのトラブル解消方法を探してみる
□ システムの復元で以前の状態に復元する

2 パソコンを初期状態に戻す前にしておくこと

□ **①準備するもの**
　□『取扱説明書』（本書）
　□ このリカバリーチェックシートをコピーしたもの
　□ リカバリーメディア（作成したリカバリーメディアからリカバリーする場合）

□ **②必要なデータのバックアップをとる**
　バックアップをとることができる場合は、とっておいてください。リカバリーをすると、購入後に作成したデータはすべて消失します。
　□ ［ドキュメント］（または［マイ ドキュメント］）、［ピクチャー］（または［マイ ピクチャー］）などのデータ
　□ 購入後にデスクトップに保存したデータ
　□「Internet Explorer」の［お気に入り］のデータ
　□ メール送受信データ　□メールアドレス帳
　□ プレインストールされているアプリケーションのデータやファイル
　□ 購入後にインストールしたアプリケーションのデータ
　□ 購入後に作成したフォルダーやファイル

□ **③アプリケーションのセットアップ用のメディアを確認する**
　購入後にインストールしたアプリケーションなどは、リカバリー後にインストールする必要があります。リカバリーした直後は、お客様がインストールしたソフトなどは復元されません。ご購入されたメディアなどから再度インストールしてください。

□ **④各種設定を確認する**

□ **⑤Windows 7の場合は、あらかじめ、音量を調節する**

□ **⑥無線通信機能がONであるか確認する**

□ **⑦周辺機器をすべて取りはずす**

3 パソコンを初期状態に戻す流れ

リカバリーをする場合は、次のような流れで作業を行ってください。

□ ①リカバリー
□ ②周辺機器（マウス・プリンターなど）を取り付けて、設定する
□ ③インターネットやメールの設定
□ ④ウイルスチェックソフトの設定と更新
□ ⑤Windows Update
□ ⑥アプリケーションのインストール
□ ⑦データの復元